

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2016年3月26日 謁見収録

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

なんかわからんわ、あんたたちが言っとるんわ。

メンバー：

(笑)

真田孔明：

やんちゃに買い続けちゃって・・・

サツチェル：

400円台でもってて200・・・

北野会長：

250円ぐらい・・・

サツチェル：

はい、そこまでさがっちゃいました。

北野会長：

俺だからこないだ言うとったよ。もう250円を買い込んでいっとるよゆうて。こないだ280円売っぱらってしまった。281円やら。4,5円まであったけどまあええわと思ってさ。そういうところはなんかすごくおれの場合はうまいと思わない？先物を売って銭にして、でそれで●●●を買ってでまた信用買いで●●●をさ、あれも●●●やすかったよね？

サツチェル：

僕今空売りかけてます。

北野会長：

本当？

サツチェル：

ばーんと下がりましたよね。

北野会長：

僕はもうとうに売って、楽になってますわ。また下がったらいつてやろうかなあと思っとるんやけど。

真田孔明：

さらって取れた？

サッチェル：

まだ持ってる。まだ下がるんじゃないかって。

真田孔明：

下がった時もやっぱり最初は薄切りの方がいいわけですよね？

北野会長：

そうそう。

おれはもうみんな、そんな強欲はしない。

サッチェル：

会長方式で半分だけ手仕舞いして、また上がったら空売りかけてば一んとさがって。会長方式（笑）

北野会長：

あれも気持ちいいんやてね、案外。

真田孔明：

もう利確した後で？

サッチェル：

そこで手仕舞いすれば最悪戻っちゃってもあれですよね？

北野会長：

そうそう。あのね、辻斬りも同じなんやて。先物売るやろ？あれでどっかんときたら、半分勝ちみたいなもんやから。あとは引っ張られても勝負できるからさ。（メンバーが来て）こっちくればええや。おまえなんかニコニコしとるわ。肩回っとるんやなかけ？

メンバー：

いや、全然です（笑）春になったからよかったなあと。まだ回らないです。まだ淡々と・・・

北野会長：

淡々と・・・なんかこの組はどっかで港買って塩漬けのイワシとかさ鯖の塩漬けとか作ればいいんじゃないの？

サッチェル：

味噌漬けとか（笑）

北野会長：

うん。味噌漬けか塩漬けか知らんけど。

サッチェル：

黒いおじさんがぶっ放すまではダメですよ。

メンバー：

確かにじっとしてるしかないですね。

北野会長：

いや、でもやわら戻ってきとる銘柄も結構あるんじゃないか？戻った銘柄もあるんやろ？

サッチェル：

戻りましたよね？

真田孔明：

戻ったどころか上行っちゃったよね。でもやっぱ資金管理ですよ。会長が一万株でやってるんだったら、僕たちは1切りを100株とかでもよかったのかもしれない。大暴落がきてトータルで3万株とかでもよかったのかもしれない。

北野会長：

でもはしかなかったよね。最近何パーセントやら下がったら、落ちていったら買うとかいったたやろ？

真田孔明：

はい。

北野会長：

すごい研究やちゃ。

サッチェル：

海外・・・

真田孔明：

ああ海外のやつはもう完全な資金管理のもとでやってるもんね、あれは。

北野会長：

ということは本人いらんゆうことやな。（笑）

真田孔明：

（メンバーに）彼が。「こうなったら買って」ってシナリオだけ決めて、感情も一切動かさず・・・

北野会長：

いや、それが一番のセオリー。感情がないんやから・・・ね？だから、本当やな話やけど、ピンと上がったら常に売ってく。そんな二割なんて言わんと浅くかましとけば引っかかる時は。おれの感情ではね、なんか今の日本やちゃ夢も希望もない、なんか。政策もたいしたことない。日銀もバズーカは玉は込める気がない。なんかそんな感じやろ？油も\$40ぐらいでちゃわちゃわしとる。ヨーロッパももう少し話したけど大してきてない、そんな感じしねえ？ところがやな時はみんな株買おうとしても買えんだやろうがい・・・びびって。あれが下がるこうイメージとして。おれは悪いっていうことは皆さんにどう教えたらいいかわからんけど・・・

サッチェル：

自分が買えない時ってということですよね？

北野会長：

そうそう。一番にわかりやすいのは「自分がびびってる」感情が結局、そういう具合に覚えとって。おそらくねみんな塩漬け、鯖の塩漬け作った人はみんなあの時に「ああ」って思うとっけど、あっこで手持ちを・・・

サッチェル：

売ればいいんですよね？

北野会長：

そう、一回。例えば820円で買うても800円では一んと一発手仕舞いかけて、その株を空売りせんならんわ。

真田孔明：

そうですね。

北野会長：

そしたら今頃さらさらとこうね。

サッチェル：

会長に「ありがとうございます」って（笑）今月分ですって（笑）

北野会長：

そうそう。いや結局ね、たったそれだけなんやて。そんなに難しいことない。

サッチェル：

自分がびびった時に水切っちゃうんですよね・・・

北野会長：

そう。で、買いにくくなったやろ？みんな途中で。もう買いを起こせんほど辛くなってくんだかいね、胸が。いやぁあれも悪い、これも悪い、ここも日本もこうやああや、あんなもん絶対悪いんやから。あっこで持っとる手持ちの株を・・・よくここ聞いとられ。今日の一番最大限の話やから。これ一万株持っとったら、あっこで800万で投げても軍資金800万持っとるんやから手元に。おれがいっとるんはココなんやて。これを自分の玉は立てとくは、その玉は空売りしたって行ったり来たりでおまえ丁半や。だからここでは一んと手仕舞いかけて勝負にでなあかて。それをおまえハワイで何回もこうやってバカのように「こーだーこーだー」って。

真田孔明：

買いで買いすぎちゃったんですね。資産家になっちゃった（笑）本当は、信用は売りでしか使っちゃいけないぐらいの勢いでやらないとダメですね。

北野会長：

ああでもね、縦に、こうじゃないからね？こうじゃないんやて。まっすぐ落とすんやから。持っとる玉ほどば一んと叩かんと、勝ちはないわけやないか。だからおれが言っとるのは軍資金はまずとってしもとにゃあかんのやて。勝負やから。ね？だからおれは傘切りと辻斬りは全く違うもんやてゆうとるんやけど、辻斬りゆう言葉がなんか嫌なんやね孔明は。この言葉を書かんね、なかなか。こうやって見とると。

真田孔明：

次塩漬けが解けてからは違いますよ。暗黒剣士ですよ。って言って量的質的金融緩和でどーんって（笑）ガーって地面ごと吹っ飛ぶっていう（爆笑）

北野会長：

すごいまいことゆうからね。解説は（笑）あー、いや、もうもらったら？なんか（ドリンク）。あとの分は追加なら追加でいいっちゃあ。

真田孔明：

（店員に）飲みだけはじめることってできます？

（各々注文する）

北野会長：

結局そこなんやよ？もう腹を決めてからいかんと。斜めに切るんじゃないんやから。まっすぐ直角やからあれは。ね？腹決めて、まず軍資金を作ると。で、腹を決めて振り下ろすと。そやる？おまえ空売りしたら自分の足切るぞありゃ（笑）そやる？本当にそういうのあるんやて。これはね。だから亡霊に繋がられるっていうのはこういうことなんやて。最後の勝負は、どんな株やととっても売りで勝負するんやて。なぜか知っとる？売りは一発でどーんとくるから。ところがね、こう妄想がかかってさ「絶対今度は上がる今度は上がる」とこう思い込んでしまいうんやて。そこで空売りば一んと勝負先物でかけるんやけど。孔明みたいにそこでは一んとはじかれてさ、鷹に持ってかれたら終わりやぞ。

真田孔明：

僕たちはまだ売りの時も二刀流でふわふわやってた方がいいですよ？

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

まずは感覚をつかんでいかないと。

北野会長：

すごいこの絵の書き方がヤクザチックやからね、おれの会は。（ドリンクが揃って）はい、どうもー！

（メンバー一同、乾杯）

北野会長：

あのね、平凡な月っちゃあこの状態。覚えといてね。平凡な、脳の中に何の不安もないやろ？株式について。なんか不安ある？ヨーロッパ・中国・原油・バズーカ・・・・

サッチェル：

あのベルギーのテロはなんか関係ないですかね？

北野会長：

あんなあの程度じゃ・・・

メンバー：

あの程度なんですね（笑）

北野会長：

いや、こういうのがベタやで。要は尻なんやて。ね？こういう時に何が有効なんかとゆうと、
こう長い剣と短い剣の両方持って、上がったら売る、下がっても売る、こうやって遊んどくと
結構口ん中にステーキが入るんやて。わかった？で、こうやって上がってって「勝負やな」と
思ったらここで手仕舞いして刀をさっき言った直角にね、持っとる玉を一回叩き売ってか
ら・・・皆さんは絶対に先物に手を出されるなよ、まだ。

真田孔明：

まだ早い？

北野会長：

まだ早い。持っとった、例えばTを820円で買うても800円で叩き売って原資を掴む。一緒の
株を空売りかける。そうすると、頭のなかにさ、数字わかっとるやろ？

サッチェル：

損してるから・・・

北野会長：

そうそう。んなんな、それもあるけども、Tがどういう感じの絵書いてとったか知っとるわけ
や。

真田孔明：

突然上がった後には大暴落が来ると（笑）「クッ！」って高角度を上げた時はもうボーンです
よね？

サッチェル：

この辺だった頃があるから・・・

北野会長：

そうそう。

メンバー：

長い付き合いになりそうです（笑）

北野会長：

おいおい（笑）

真田孔明：

国大卒業してTに入った社員よりもTを愛してる（笑）

メンバー：

忘れない・・・

北野会長：

だからこういうのをね、例えばこのTがずーっと凍りついとったら、思い出のいい女と同じような感じで見れる。わかった？「切れば損する」やる？

(メンバー爆笑)

北野会長：

ここがおもしろいところなんやて。本当やよ？あの損した株を抱きしめとるんやて・・・わかる？だから未練は残るわ切れば銭は損するわもう二重の苦やぞ？

真田孔明：

確かにTって僕たち「T子ちゃん」って呼んでるんですよ。T子ちゃんってすごい魅力的だったんですよ、おてんばで。跳ねる時ポーンで跳ねるし下がる時下がるし。売り買いをうまくできてた時ってもう魅力的だったよね、あれね。うん。甘い時代があったんですけどね。激しい夜を過ごした時間があったんですけどね(笑)急にそっぽ向いちゃって他に男作っちゃってみたいな。

サッチェル：

8月ぐらいから(笑)

真田孔明：

急に冷たくなってきたと。

北野会長：

いやそういうぐあいに頭に置いといてくれたら、あの何日線とかさ、難しいことゆうとる人たくさんいるけど、わしはこの四十何年やってきた中ではね、いやあんたたちに嗅覚あっかないかは知らんよ。こういうのが一番わかりやすい。おれもiPadおいてやっとするけど、暇な時3,4台こうやって置いて計算機で利率何パーセントって。でもやっぱ俺が思うに、これが平常。ほって自分の心に変なデータが出てきたらそれは下がる原因。ほってこないだみたいに占い師さんが出てきたら絶対に俺は株が上がるゆうた、バンコク。だからそういうことなんやて。

真田孔明：

みんなが大暴落くる、大暴落くると、世紀末を叫ぶ人がふえて来たら・・・

北野会長：

そう。いつでもね、ああいう仕立てゲームが出てくるんやて。何も火は動いてないんやて、でも大火事やゆうて騒ぐやつ。っていうことはそれを仕掛けとるやつが裏におるわけや。俺はいつもそういう具合に読むからこないだバンコクでは・・・いやおれも未来のは知らんよ。でもそういうバカなことは絶対にないっちゅう。おれは絶対上がると踏んだから、買いに出otta・・・バラ買いに。

真田孔明：

株って過去見ると第一次大戦も第二次世界大戦も普通に動いてたわけすもんね？

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

むしろ大戦中って日本国民はわっしょいわっしょいってやってたわけすもんね。経済の人たちは。

北野会長：

うん、一番儲かるんやで。日本なんてね朝鮮戦争なんかでさ、どっか原材料持ってきてさ、えっさえっさゆうて韓国さえ送ったたら銭になっとったわけやから。まあ難しいの。みんな騙されやすいタイプやから。

メンバー：

(笑)

北野会長：

いや、さっきタクシーの中で女の愛を語ったら危ないと。

真田孔明：

女が男に愛を語るわけがないです、本当 (笑)

北野会長：

やっぱいあれは愛を語っとるように聞こえるけど金を持ってこいと一生懸命語っとるわけやないか。

真田孔明：

金を見ながら語ってるんですよ。

北野会長：

まずあなたは行儀が良くて、浮気せんと金はウチに持ってこられと。どんだけ外で遊んどっても私はいいけどやち、いや実際そうなんやから。だからそれがひっくり返ると家庭不和が起きてくるわけや。そういう具合と家の家庭不和と株の下りは同じやと、まあいコールにこう置いといてくれば、おそらく私の言ってることはすごくわかりやすい。あんな線立ててさ、いやおれわからんけど、こないだ「どうしても会ってくれ」って証券会社の兄ちゃんがきてさ。おれになんかこう見せてさどうじゃこうじゃゆうとるんや。「おまえね、おまえがそれを言ってやよ？会社が言えって言って言った株でやぞ、そんな株で上がった株なんておれね聞いたことも見たこともない」。そりゃあ天下の●●さんやからさ、すごくいい地図やがの。だからそんなバカなことあるわけがねえんやから。わかる？営業マンがおまえお客さんに儲けさせてどうするの？わかった？営業マンはおまえたちから金を取って会社へ納める係なんやて。

真田孔明：

あれ在庫持ってるやつを売りに来てるんですよね？

北野会長：

当たり前よ！（笑）いない女を。

真田孔明：

ちなみにその時は何を売りにきてたんですか？

北野会長：

んーなんかおれの扱ってない銘柄やった。

メンバー一同：

あー。

北野会長：

でも「これがいいんや！」みたいなこと言うから、おれ言うた。「おまえがそんなにいいって言うんだったら、おまえが買えばええやないか。」

メンバー一同：

（笑）

北野会長：

「おまえが30万か40万しか給料もらわんとただの営業なんやろ？だからおまえ金持ちになれんがやて。上のいうことばっかしきいとらんがやから。そやろ？上が売ってこいゆうたら、おまえは空売りかけときゃ必ず儲かる」

メンバー同：

(爆笑)

北野会長：

いや、実際そうなんやて。

メンバー：

すごいですね。それやればその営業マン・・・

真田孔明：

あ、でも逆に言うと営業マンの敢えて営業を受けるのもアリかもしれませんね。空売り銘柄を探す時。さらっと。あんまり深追いはしないけどみたいな。

北野会長：

大体ね、証券会社のおばちゃん達おるやろ？おばちゃん的地回りのおば・・・あのおばちゃんいうたらいかん、お姉さん達がおばはん達に証券を売るわけや。ね？で当然孔明いう通り自社が持って在庫になっとるやつを売るわけやから。で、買ったばあちゃんが「あんたえらい下がったねえ」っていうたら「投資はなが〜いことやらんと儲からんから」そう言いながらただ茶飲んではいつも毎日そうやって言い訳するわけよ。だから人間関係でこう繋がっとるだけ。

真田孔明：

お茶飲み友達になってあげて、訪問してくれてるわけですよ。寂しい・・・

サツチェル：

なが〜く持ってたらそのうちお亡くなりになっちゃうこともありますよね・・・

北野会長：

そうそう。いやだから証券会社の言っているところで1000株やらそんなん買って儲けた人なんてほとんどおらんが。「これ上がりますよ！」ってんなバカなことが、普通考えてみて。みんな経営者やろ？そやろ？そんなバカなことは絶対ないの、世の中に。「愛はあやふや・恋は恋しいだけや」って毎日いうとるんやから。

サツチェル：

「おまえんとこ買えよ！」っていう話ですもんね（笑）

北野会長：

そうそう（笑）「いやぁおまえ一生懸命売っとるんか？」いうたら「売れとる」ゆうたら「じゃあおれ空売りするわ」って（笑）いやおれ昔ね、逃げ切った時に、あのバブルから。証券会社がおれに言ったもん。「あなたキ●ガイと同じや」って。いや全部手仕舞いしてくれって。おれその時始めて習ったんや。空売り。空売りや。先生がそうやっておれにいうたもん。間違いなく下がるっていうからおれも自信持って。おれもアホやから。

サッチェル：

会長もあそこまで下がるとは思わなかったですよ。思ったんですか？

北野会長：

いや思っと思って、どこまで下がるかわからんのやて。んでわからんもんで、下がって儲かっとるやけどまだ電話して聞いとるんやて。「これどうやったら手仕舞いできますか？」みたいなことゆうて。こんな時の売りやから。もう直角やよ？おれの友達なんかみんな直角でおまえ3000万、5000万、一億ゆうて追証をはろうとるんやから。だから切った者と切られた者の差っちゃん大きいんやて。

サッチェル：

そしたら証券会社の人が「あなたはキ●ガイじゃないか」って。

北野会長：

そう、キ●ガイやって言われたって。で、わしらは当時ほとんど情報で物をこうとったんや。入ってきた情報で・・40万株。証券会社が「そんな株なんか買うんですか？」て。いや40万株でも銭売って精算したんやね。こう40万株残った43万でも5万でも残高のある限り買っとってくれ！と。本当にね、ものの10日ぐらいで4,5割上がったね。そういうのはNEでもあったしYでもあったし、Jでもあったし思い出の株はいっぱいあるんやて。ところがね、その山が終わって売った値段がおれの買った値段よりはるかに安くなるんやて。こんなもん今買っとけばアホでも儲かるわゆうて。何十万株か買うたんかね？たった一万株しか買うとらんのに未だかつて原価がそこまでいかんというのが、こう、40年ほど持っとしても。

真田孔明：

えーこわいですね。

北野会長：

もう凍り付いてしもとるんやて。お抹茶の塩漬けやなく、おれのは凍り付いとるんやて。

真田孔明：

それは何万株買ったんですか？

北野会長：

一万株。

真田孔明：

そこ答えですね！

北野会長：

だから号令のない時に動いてもろくなことがないゆうことがわかるわけ。おれなんかもう情報屋やから。聞いたら買っとったけど、こんな株で思い出の株はみんな一万株程ずつ買っとったが。ばーっと上がってさ。銀座のテーブルひっくり返しても大丈夫ぐらい儲かった時もあったがやて。で、それが思い出なんやて。一万株ずつ買うたのに、今でも持っとる株たくさんあんがやて（笑）

メンバー：

へー！

北野会長：

だからやっぱ世の中っちゃあそんなもんでないかなと思う。だから皆さんも悪い女に引っかかりんと。でも本当にまだ一年も経たないのに、二つの経験・上がる体験とさドカンの体験ね。これはすごいもんやわ。これで誰も自殺者がおらんゆうことがすごいちが。

メンバー：

余裕資金でしかやってないから・・・

北野会長：

ところが、今ねよちよち歩きだから勝負せんがよ。これ慣れてきてね、肩回るようになったらガバーって言うてしまうんやて。

メンバー：

最初痛い目みといてよかったです。

サッチェル：

ラッキーラッキー。今なら、確かに。

メンバー：

このぐらいのタイミングで経験しとかないといけないですもんね。

北野会長：

いや、JAもそうやったけど永遠におれ持っとるんやった、そういや。おれの友達永遠に40万株で飛んだんやもん。それが心にしもとるもんで。ま、買った時は1980円で今300・・・？おういっしょやろ？

メンバー：

(笑) 320・・・

北野会長：

JAなんてすごいよ？おまえあったあつたいうとって、90円で9000万分飛ばしたんやから。全部やよ？9000万。いや、プロじゃねえんやて。実際におれが騙されて買うたがが。

真田孔明：

そういえば今度Tが、4月1日から電力自由化に伴ってホールディングスになるじゃないですか。今までホールディングスになった株ってどういうふうになってたんですかね？

北野会長：

やっぱ業績やわいね、株価は。だから、まあ俺流に言うと会社を語るようになったらもう終わり。

真田孔明：

あ一会社を語るようになったら。

北野会長：

うん。「この会社はいい会社やから」ゆうてその会社の信者になったらもう終わりや。おまえシャープ見てみい、東芝見てみい。パナソニックもそうやろ？あとまたなんか電器なにがあるの？サンヨーはもうないか？

メンバー：

ないですね。

北野会長：

んなやろ？だから企業なんて愛する・・・どっだけゆうてもだいたい女の顔がだから一緒のもん好きな顔が似とるゆうがそこなんやて。そりゃあなた自身のことなんやて。おれからゆうと。そやろ？だから企業を、会社がこうやからゆうて能書き書けるようになったらもう終わり。それは銭儲けやなくて愛やわ。だからもう脳の中があやふやになってしもとるんやて。孔明さんが2割上がったら売れって言われたやろ？売ったやろ？これが一番正しいやり方んやて。

メンバー：

あやふや大好きです。

真田孔明：

またTが800円台に戻ってくれないかなって思ってるんですけど。それだけでもう未練は残らないですけどね（笑）

北野会長：

そう思うゆうことはかなり迎えが遠いゆうことやよ。

真田孔明：

あー逆に。遠いんですね。

北野会長：

そうそう。そういうことを心に思うということがものすごい遠い壁やっっちゃうことや。

メンバー：

あー。

サツチェル：

そうなんだ。

北野会長：

おれは絶対そう思うわ。

真田孔明：

みんながそう思ってるわけですよね？

北野会長：

そう。だから想いを寄せるがは孔明だけじゃねえんやちゃ。

サツチェル：

（笑）920円の東電を持てますよ。

北野会長：

そんないっぱい上がった？

メンバー：

マックスですよ？

真田孔明：

うんマックス938円じゃない？

サッチェル：

900円台が5500株ぐらいいまだ・・・

北野会長：

おまえそれで一気に塩付いたんやろ？

サッチェル：

すみません。600円とか700円とか買い・・・下がったら買う下がったら買うしてたんで、今800円ぐらいいですね。

真田孔明：

やばい、一緒ぐらいいだね。てことはみんなもそれぐらいいだってことですよね。

北野会長：

そっちもTけ、みんな。Tグループ？T？

メンバー：

いえ。

北野会長：

本当？おれまた全員かと思ってさ（笑）

メンバー：

私はまだ新し目のやつ持ってるんで（笑）

北野会長：

ほんと？ああこっちは新しめけ？今度は。おれまた白ね！（ワイン）

メンバー：

売買上位銘柄は時代によって全然変わるんですか？

北野会長：

変わる変わる。

メンバー：

例えばTがずーっと一番上で一位にいてそれが普通かなあと思ってたんですけど。

真田孔明：

え？やばい・・・去年一位ってことはなんか戻んなそうじゃない？

メンバー：

会長の如く10年20年もつと・・・

北野会長：

でもそんななんとなしには戻らん。おれは絶対そう思うわ。

メンバー：

原発再開したとしてもあんまりうまくいかないんじゃないかなと・・・

北野会長：

うーん、原発はおれは逆に足引っ張られると思うんやけど。

メンバー：

あー。稼働したら稼働したで・・・

北野会長：

そうそう。でもいちばんすごいねあれは日本の在庫のプルトニウムをアメリカに渡すゆうたやろ？アメリカにプルトニウムを渡すゆうた、つい3日ほど前に。あれが一番国際問題では一番大きかったんやから。あれであんた原子爆弾作ってアメリカへ打ちゃあ世界の王様になれっかもしれんぞ？よく離れたよね。今までね、なんだかんだゆうて離さんだね、プルトニウムを。やんちゃばっかりゆうて、だから国際問題の第1位は日本のプルトニウムやったんやから。一番アメリカも懸念しとったがは日本があ在庫を原子爆弾にしたら・・・

メンバー：

今でもその懸念ってあったんですか？

北野会長：

そりゃあ日本人が一番山っ気あるよ？

メンバー：

(笑) 奴らになにか地下で作ってるんじゃないかと・・・

北野会長：

そうそう。よう考えて見られ。回ってハワイの真珠湾行って一発で勝負したんやろ？あれが嘘やゆうて。おれからいうと。あの時代におれが生きとれば日本がまゝ勝った

メンバー一同：

(笑)

北野会長：

あっこでやっぱニューヨークを攻めなあかんやろがいね、ばーんと。真珠湾じゃなくて。そう
思わん？

真田孔明：

タワー破壊しに行かないと（笑）

北野会長：

いやぁおれはやっぱ、いつもそう思うね。ハワイ来とってさ。なーんでこんなちっちゃい湾攻
めんとさ、ね？相手気付かんとやから、あれニューヨークやっとなって見れ、全然違うやろ？株
式相場ブーンやし、銭はあそこにめいっぱいあっしさ。そやろ？あっこの橋も破壊しておまえ
誰も来れんやろがいよ。

真田孔明：

よくあれ第一次世界大戦の軍の内部と、第二次世界大戦の軍内部で大きく違うのは、第一次世
界大戦はイメージ的には会長のような人が大將やってたんですよ。

北野会長：

そやろ？

真田孔明：

もう直感ががーって。で、第二次世界大戦は軍が確立しちゃってるからみんな東大・京大生み
たいな人ばっかで。そこに大きな違いがあったって。あ！なるほどなって。で、第一次世界大
戦確かに感覚でいってるような気がするんですよ。会長みたいに。パーンって。

北野会長：

踏ん切りって絶対に大事なんよ。んでね株は下がった、罫線もそこにこうやって引いとるよう
なバカは銭なんておまえ後付きに決まっとる。当たるわけねえんやから。そやろ？おれは絶対
そう思うよ。おれはほとんど8割・・・本当いうと99%カンなんやけど。やっぱその直感がす
べてやとワシは人生そう思っとる。

真田孔明：

じゃあ僕達やっぱり袈裟斬りやりだしてね、両刀でいいよね。直感ない人は。

サッチェル：

直感が逆にいるからね。

真田孔明：

そうそう。

サッチェル：

でも今日の会長のそうでビビっときましたね。自分がビビったときこそ売れって。確かにそれは感じました。「これ買えないな」と。

北野会長：

あんたら下がった日知っとるんやから、あん時に自分の心がどこにおったかを知ればそれがすべてや。

サッチェル：

すごく理解できました。

北野会長：

だからこっだけ10人ほどおってさ、今日株買おうかなと思う？売ろうかなあと思う？どっちでもないよ。そやろ？平凡な日々や。これを覚えといてほしいて言うとりやないかい。

真田孔明：

ビールの人ハ？

サッチェル：

(アルコール飲めないメンバーに対して) お！ビールじゃないですか？すごい！

メンバー：

ちまちま。

真田孔明：

へー！

サッチェル：

いいじゃないですか！銀行と飲む時これ飲んだらいいですよ。酔っ払ったふりして。

北野会長：

おい、今からそれにしてくれよ、おい。

サッチェル：

これがいいですよ。ビールにしか見えない。「飲みますねー」って言われながら酔っ払ったふりして。すごい。

真田孔明：

ちなみに量的質的金融緩和って今どんな感じで東京の方は言ってるんですかね？

北野会長：

今、日本の景気が2%もいかなかった。ね？んで「日本死ね」のあの誰が書いたのかあれで経済はガタッと頭下げたんや。でこのまま捨てとくとグライダーやからゆっくりと下がってってしまうんや。だからどっかで200兆。

真田孔明：

やっぱりこの200兆の話はあるんですね！

北野会長：

2～300兆。

真田孔明：

2～300兆！？

北野会長：

アメリカがあのだうやって経済復歸したかゆうたら、あのデタラメな緩和したやろ？QE3であれ経済持ち直して、利息も高くできるようになったわけやから・・・やるって。

真田孔明：

でもアメリカも年間70兆ぐらいしか入れてないですよ。

北野会長：

いやいや、そんなことない。

サッチェル：

あー表向きは70兆だけど・・・

北野会長：

あの時にEUにお金を貸して、EUが危ないからEUのために印刷するってどんどん印刷してEUに金を貸し付けた。で、日本へは金を返済してないんや。日本がアメリカに貸しとるのは950兆やからね。あれ全然返す気ねえよ。あのとうちゃんはばーんと返すけど、例えば50兆返しても80兆ずつ借金していくやつやないかい。それが僕のシステムと同じなんやて。余計借りた方が得やっていうのはアメリカのシステム。そやろ？日本のおまえ安部さんにしたって中東があって、お一君にも3000億、お前にも2000億ってバンバン撒いとるやろ？あれ、餌や。釣り針の餌や。あとは全部今度は、インドでも全部今度貸しやからね、貸し。ものすごい仕事してるんだよ？だからアメリカなんざ今利息あげたら一番損するのはアメリカやわいよ。だから利息も返すの嫌がったから円高にடுத்தわけや、一生懸命。ね？で、何にしてもさ借金はアメリカ返せんが。あのとうちゃんは道楽やから、ダメ、あれ。あのとうちゃん道楽とうちゃんやから、永遠に日本のかあちゃんから銭吸い取っては・・・

メンバー：

無駄を・・・

北野会長：

そうそう。いや、だから国際問題に日本になるわけよ。「金返せ」っていうたってとうちゃん返さんやる？で、かあちゃんプルトニウム山ほど持っとるやろがいね。

メンバー一同：

(爆笑)

真田孔明：

家で包丁持って待ってるみたいな(笑)

北野会長：

だからこないだから「船に詰め船に詰め」いうて脅しかけとった。もう10年ぐらい出しとらんのやから。二言目には「いやわたしもどうやらどうやら」って言い訳ばかりとるんやて日本は。それが実情や。だから世界のナンバーワンの議案とそう言われとる。どこの文書にも書かん一番大事な原文なんや。だから金持ち法は一般素人のところに入ってこないわけよ。

メンバー：

その包丁を返しちゃったってことは・・・

北野会長：

あんなもん一部だけ。

メンバー：

あ、一部なんですね。じゃあまだまだ隠し持ってるんですね。(笑)

北野会長：

そう。もう六ヶ所村の地下にも埋めとってるから大丈夫や。とうちゃんちょっと逆らったら、この日本の開発技術やからあんなもんあっちゅう間に作るわいね。核弾頭ぐらい。燃料さえ持つとればなんぼでも飛ばせるんやから。で、技術のニッサンやぜ？んなもん。いやだからおれがいうがはあれを、真珠湾を攻めんとやな、あっこ、なんちゅう海峡やったけ？えーキューバ。バハマとかキューバの方にスーツといってさ、ばーんとやってしまうわけよ、あんなもん近所やから。それくらいやっぱり戦略たてなあかんやし。

メンバー：

会長。緩和なんですけど、その七月の選挙あるじゃないですか？7月の選挙までにはたぶん株価を上げ切りたいと思うんですが、そこらへんいかがですか？

北野会長：

いや、おれはね、そこまでは慌てんと思うんやちゃ。

メンバー：

あ、そうですか・・・

サッチェル：

敵いないからね。

北野会長：

そやる？おそらくね大阪維新は自民党べったりやぞ？維新はやっぱり公明党の代わりにわたしわたしてこうやって、ね、口で言っとるんやて。そう思わん？

真田孔明：

当初は末もまだ厳しいみたいなこと上がらない・・・

メンバー：

上げるしかないんで。

メンバー：

またサプライズでやるんですかね？

真田孔明：

そうすると何のために200兆300兆やるんですかね？選挙のためじゃないとすると。

北野会長：

このままだと、また円が80円になる。デフレになってしまうわけや誰も来んぜ人が。（店内が）
今度はお嬢さんが多いな、今日は。お前ちょっと営業活動してこにゃあかんのやねえがけ？

サッチェル：

（笑）80円に戻ってしまう・・・

北野会長：

そうやよ。このままほっとくとすぐまたデフレになってってしまうから。今度またデフレになったら失われた50年か100年になるよ、これ。でもね、デフレになると円が海外で強くなるから、これもまた、いいもののわるいもののなんやて。わしの友達でも80円の時に、その差額だけでジョホールバルの一億5・6千万のマンションを一つタダで買えたって言っとったもん。

真田孔明：

え？それこないだいらっしゃった方ですか？違いますかね。

北野会長：

あ、彼とは違う、また。

真田孔明：

あー。

北野会長：

すごいね、バカな友達も多いから。

サッチェル：

でも、会長。日本もオリンピックをやるからその時には円安に持っていきたいですね？

北野会長：

うん、いや日本はそんな感じでは動かないでしょ。日本はおれが思うに、まずは120円よりもどっか高いぐらいに持ってきて、1回きたお客さんがどんどん日本にまた来るように、リピートやね。リピーターが増えるような政策を打つんでないかなあと思うわ。もう四人に一人、25%は老人なんやから。やっぱそういう人は大事やろ？

メンバー：

うんうん。

北野会長：

まあこれはあくまでもわしの感覚やから。

真田孔明：

感覚、すごい・・・

北野会長：

いや本当。すべておれの感覚でしかおれは物をいわんし、勉強は全然してねえんやから。ね？
わかった？

メンバー：

この辺歩いてたらすごい中国人の方いっぱいいらっしゃいましたね。

北野会長：

そうそうそう。

メンバー：

まだ全然爆買いしてるんだなーと。

真田孔明：

なんで土曜日なのに人が多いんですかね？やたら。普段の。八重洲まで今日多かったんですよ。

メンバー：

そうなんですね。銀座はまあこれぐらいいっぱいになるんでしょうけど・・・

北野会長：

いや、そうじゃなくて。みなさんは、今思っとるやろ？メディアに、メディアがさ中国はよくない。日本の企業がどんどん撤退しとる。こういうやろ？ね？じゃあ中国人はご飯食べてない？食べとるやろ。いい時からみたら少し下がったゆうだけで、世界でやっぱ一番強いのはおれは中国やと思うんやて。そうやろ？お前我の国で2%しか達成できんがで。野郎んところは下がっても6~7%はいくゆうんやから。そやろ？だから皆さんはなんかねいつも純情やから。いいように書きゃあ純情やからなんかそういうね、紙にこう踊るんやて。いやいや、太鼓を鳴らすと踊り出すというか（笑）おれが見るとそうやって見える。もっと考えるいうか直感が自分でないんかなあと思うぐらいそこらが違うよね。これはね、どういうの？日本企業でも給料やっとなで払って採算が取れんようになるやろ？だから中国から撤退ゆうがね。ただおれはその程度やと思うよ。

真田孔明：

今、中国現地の不動産がまた上がってってるんですよ、また。

北野会長：

そやろ？

真田孔明：

はい。価格が。

北野会長：

ところが、日本のメディアっていうのは、言葉が違っとるがか俺はわからんけど「中国は減速しとる」と。我の国減速しとるゆうか我の国マイナスやないかい。あっこがだからバカなところなわけや。おれは絶対そうでないかなあと思って見とるわけや。だから、経済が止まったゆうたら下へ来たほど止まったゆうがちゃね。メディアが発表するなんてん、止まってしもてから2~3ヶ月経ってからや。そんなね即じゃねえんやて。

真田孔明：

あ、じゃあ株価が一回すごい暴落しましたよね。そこの止まったは今止まったって言うてるんですかね？

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

じゃあ上がる前兆なのかな（笑）

サッチェル：

「止まった」って言った時・・・

北野会長：

おれはいつも・・・

真田孔明：

あれちょっと塩付いてるんだよね。まあ現物ですけど。

北野会長：

いやいや、だからさ、こう資源ちゃあさ、油と共にだだだーと下がったわけやろ？まあおそらく少し上がって、跳ねる時はバーンとはねてしもわけやから。わしはだからそういう具合に物を考えとるんやけど。いや、わしの考え方やよ。

メンバー：

お聞きしてもいいですか？ずっと前からこの選挙と200兆のタイミングみたいな話ってずっと前にあるんじゃないかって話あるんですけど、そのある程度の心構えとして、さっき確認したら日銀の金融政策決定会は4月と6月で選挙が7月にあると思うんですけど、タイミング的にはどうなのかみたいになっていう・・・

北野会長：

いまは6月にする必要はないと思う。ほっといっても選挙には勝てる。ね？でまあおそらく大阪維新を抱き込んで、もっと頭数を増やしておそらく3分の2取れたらね、戦争でも起こしましゅうっていう法案を作るんでねえ？やっぱ。理由いくやろ？そういうことを考えるとやっぱかなり本当にこうボタンと来たら、ここに爆弾仕掛けてドカーンでねえがけ？ここに爆弾しかけるやろ？こんなな一んもねえ平穩のところに爆弾仕掛けてもあんたたち嬉しくないやろがいよ。そやろ？やっぱ華々しくいく時にはもっと大掛かりにやらんとさ。

真田孔明：

また大暴落くるかもしれない。

北野会長：

その後がやっぱり危ないよね。

真田孔明：

あ、でも大暴落が一回くるかもしれないですよ？

北野会長：

いやいや、だからその時にガバーっとあがるやろ？2~300兆そんなんはねたら・・・

真田孔明：

持つかな・・・（笑）

北野会長：

その爆弾でドーンとあがるやろ？2~300兆の爆弾であがるんやて。当然ね。いや、皆さんはそういうこと知らんとおもとるけど、海外の株で日本が一番魅力的な女なんやから、今のところは。ジャパニーズゲイシャ。これが一番魅力的なんやから。覚えとって。日本は仕掛ければみんなずーとくるよ。さっきもタクシーの中で言ったけど、出来高は暴落の日が一番でけんやから・・・わかったやろ？これでも最初からこういう話をしとるんやけど、みんなほとんどこっちから入ってすーって・・・（笑）

メンバー：

（笑）次こそは・・・

北野会長：

次こそは命って、お前、「君こそは命」って歌があったけど。いやおれはそう思って、そこにどこのデータもないわけや。おれの感じるものをただ口で言うとするだけやから。

真田孔明：

それは、東京何にもいわないんですね？

北野会長：

東京は号令がかかってきたらもっと美味しい話になるんやろがいね。こんなお前ひなまぬるいお湯の中からさ、下がることもできず上がることもできずゆうのは、この時節はあかんやろ？もう。これでもね、ほっといて見られ。4月あつという間に抜けるよ。なんでかゆうたらみんな配当金出てくるやろ？だからみんな心豊かになるがやて。人間ちゃあみんなそんなもんやて。本当はね、みんな塩漬けなかったら本当は配当金の高い株を3月の25日まで買うんやて。5日前にね。ほって同額に来ようと配当金を計算して売りをかけるわけやわ。わしらそんな40年間ほどそういうバカなことやってきたけど、これもねなんかもらえないボーナスをもらったようなみたいな感じでまた嬉しいんやて・・・3月25日や。で、3月20日ゆうておぼえておいたほうがな、脳には。ね？そして要は配当金の高い銘柄をね、そこへ玉いれとくわけや。で、配当金が出たら31日になればそれで終わりやから・・・締めで。あと1,2,3,4,5で早く売ることばっか考えとるわけよ。

真田孔明：

同額でもいいから売るとのことですね。配当金あるから。

メンバー：

そしたらすぐ売っちゃったほうがいい。

北野会長：

利の確定やから、商売っちゃあ。上がった上がったゆうて売らんだら1円も儲からんからね。もらったら手仕舞いしとけば。

メンバー：

配当金出たら下がるじゃないですか、スコーンと。

北野会長：

そうそう。

メンバー：

そこで売っちゃうんですか？

北野会長：

いやいやそこでは売らんが。

メンバー：

そこはもっといて・・・

北野会長：

きっちい株ならね、やっぱそこそこ戻るんやて。同額ぐらいまで戻る。

メンバー：

そっからもう売っちゃえば配当の分だけは利益になると。

北野会長：

そうそう。だから未練残すな金残せっていつも言ってるのはここらへんも細かいとこやけど、おれもねやっぱ「〇分になるわ」ゆうて・・・例えば2.5%とか3%ととかさ、つけとるっていうのがあるやろ？だからそういうものをやっぱ狙っていくわけよ。・・・（食事を食べて）うん、なかなかさっぱりじゃの。

メンバー：

辛いほうがいいですか？

北野会長：

ん、いや、あんま油入っとらんほうがいいよね。

メンバー：

あー。

北野会長：

でもまあこの3末まで持った（生き残った）ゆうことがまあ立派なもんやちゃ。いやいや本当に。（メンバーに）追試試験は終わったんやろ？

メンバー：

まあ一応。

北野会長：

本当（笑）徐々に算出していきちょっから大丈夫やろ。でもこうやって見とったら、みんな塩漬けの時のほうが元気やね？（笑）

メンバー：

慣れちゃいました。（笑）

サッチェル：

確かに。（笑）

真田孔明：

これ、でも人間として一回り大きくなった気がします。（笑）

メンバー：

動じなくなりましたね。

北野会長：

どっか後ろのお嬢さんたちみんなそう言っておし、「わしゃ一回りでかなった」と。いや、みんなニコニコしとるから塩付いたらもう気楽になってきてさ。

メンバー：

そう。塩付いちゃったら、上がる心配も下がる心配もなくなった。（笑）見てるしかない。

メンバー：

そうです。

北野会長：

見てるだけか？いいねー。鑑賞の世界に来たと。さすが。すごい。いやみんな忙しそうやもんね。いやいや一生懸命働かれや。今度ラスベガスに来る人だいぶいるの？

サッチェル：

います。

北野会長：

本当。

真田孔明：

あと今日来てないメンバーで来るって言ってた人いましたね。明日のメンバーとか。

北野会長：

ふーん。

(店内が騒がしくなってきた)

真田孔明：

これちょっと失敗しちゃったな・・・周りがうるさすぎるね。この女子の声で(笑)

メンバー：

女子盛りあがちゃって・・・

真田孔明：

日本の女子は元気だ！と。

北野会長：

元気やね。

真田孔明：

でもこれやっぱり銀座の昔の光景としては、女子だけで来てるなんてもったいないことはあり得ないわけですよ。みんな男と一緒に来てるわけですよ。

北野会長：

今ね、銀座の店は全然ダメ、店全然ダメ。夜になったらさ、こう銀座の通りがさタクシー並んでるもん。バブルの時はタクシーなんて一台もいなかったんや。いかにだから銀座の店が暇かゆうことや。そこらが見て見られほら。このね高齢者軍団はきつついんやから。これでそう、ゴキブリタイプやないかね。とうちゃんがいなくても男がいなくてもこうやって酒飲んでキャーキャー言っとるんやて。

真田孔明：

多分この立地だったら、銀座が絶好調の時なんて女子一人で来れない値段だったはずなんですよ。同じことで。女子だけで来れるってことは、お得なアレになってるわけですよ。

北野会長：

そうそう。いやだから・・・ 6丁目やったけ？ここ。出てきたとこ・・・

真田孔明：

ど真ん中ですね。

北野会長：

どっかすぐそこにナカダゆう寿司屋があって、セット4万5千円やったね、昔。シオザワゆう天婦羅屋があって、そこも4万5千円。

真田孔明：

うわー、4万5千円。一人？

北野会長：

一人。みんなセットはそんなもんやった。でもどんどんお客さんが減ってこういう人に入れ替わっていくがね、店ちゃあ。で、今度女子が来て、「こんな高かったら二度と来ん」みたいなことゆうとすぐ値段下げるわけよ。ね？だから経済は持つわけやないかい。何あんたわしらが追い出せゆうて貸切やゆう・・・

真田孔明：

昔だったら席数がこの半分ぐらいだったかもしれないですね。厳かに。ポツポツって。このライトの下だけにしかなかったかもしれない。（笑）例えば。

メンバー：

なるほど。4人ぐらいずつ・・・

真田孔明：

相当詰め込んでますよね、これ。声がバーって・・・この立地とあれからすると。あ、あと会長もう一個お伺いしたいんですけど、融資引っ張る銀行の法人口座に預金とか定期預金てしといたほうがいいですかね？

北野会長：

あ、融資引っ張る銀行にけ？

真田孔明：

はい。

北野会長：

やっぱそれは一番有効なのは積み金でしょう。

真田孔明：

積立・・・

北野会長：

ここに借金あるやろ？で、金は返したくないみたいなこと言うてるんやて。でも返すお金だけ
はこう預金していきたいねみたいなところを言い始めると、50対51になった時に支店長の心は
変わるよ。例えば、わかりやすく一億借金して、6,000万積み金があると。あんた支店長やっ
たらどう思う？その積み金は増えていくちゃね。でも借金は減っていかんちゃね。ここにこの
二刀流が生まれる。長い剣と短い剣。積み金っていうのは上がってくもんやて。借金っていう
のはこれで止まっとるもんだから。これが信用の始まり。人がものをいうんやちゃ。いやいや
だから、金を見ると人は弱いんや。例えば、本店に稟議かける時やよ？一億借りにとってこの人
6,000万の定期預金持っとるんやと。積み金持っとると。だからもっと貸し出しをしたいと。
それを本店がダメや！ゆう？で、それからもずーっと積立はしとくと。積立の銭の利息入らん
のやから。それっっちゃうのは両建てやろがいね。株でいう両建て。ね？両建てなんやて。一億
買いをかけて、6,000万売りをかけとくっちゃこのスタイルを言うとりんやないか。

真田孔明：

だからこれも実際は借りた金一回引き出したのを返していただくだけだったりするんですよね。

北野会長：

そうやよ。それを三味線というんやろがいね。

真田孔明：

もしくは他人から借りてきたお金をこっちに入れるみたいな。

北野会長：

そうそう。

メンバー：

あのー6,000万の入れ方としては、例えば、今一億借りて6,000万を入れた時に開設して6,000
万ポンって入れたほうがいいのか、1000万ずつ6回に分けて・・・

サッチェル：

積み金積み金。

メンバー：

積立・・・

メンバー：

積立・・・あ、そう意味ですね、すみません。

北野会長：

お前ね、毎日・・・あ、今書いていない？「日がけ月がけ心がけ」やろうがいよ。これを3つに割れば簡単な原理やる？

真田孔明：

向こうもサラリーマンの給料かのように積立が来ると50万円ずつとか毎月。

北野会長：

やっぱ企てる人はこういうことを企てとるからすぐわかるやちやの（笑）そんなんやて。

サツチェル：

今日の勉強会で話した話と毎月毎月定期預金していけばいいんだよ。

真田孔明：

結構お告げ研究会でも情報アップしたらどんどん話してるんで。まとめたやつを。うん。

サツチェル：

税金の払い用に。

真田孔明：

だから税金の払い用って言ったら儲かってる会社しか言えないじゃん、さらっと。

北野会長：

もっと嫌がらせに、法人口座に積み金立てて個人口座にも「いや、給料もあんまり使わんもんで」みたいに。これが結構ボディブローのように、「お！おー！」ってやらしい。

サツチェル：

なるほど！

北野会長：

これが人間の知恵いうやつや。てこの原理やからね。だからちっちゃいことが相手にとっては大きなボディブローやゆうことや。

真田孔明：

向こうもサラリーマンだからちまちましたことを見てるわけなんですよ？

北野会長：

そうそう。だから相手がサラリーマンほど、「僕、5万円っちゃあ絶対定期預金できんのに、10万円ずつ預けていく」と。こう思ったら自分のもらってる給料の倍に見えるやろ？こうね、すごいねいつもこういうバカな話をしとっけど、こういう細かな繊細なところが大事なことなんやて。そう、繊細なことがね。そうところまたこう覚えて身につけるといい。

真田孔明：

うちの場合は弟の会社使ってやってるわけじゃないですか。だから最近、サッチェルと僕で毎月50万円ずつ積立していこうと。僕たちの預金に入ってもしょうがないから。

北野会長：

だから弟とあんたが貸借を組んどくんやて。で、弟の名義で50万ずつお前預金増やしてってみいよ、お前銀行は神様仏様のようよ。で、弟はさりげなく「最近お金余ってるんだけどなあ」みたいな。

真田孔明：

やっぱ空の状態だといくら決算書上良くてもなんか余ってるっぽくないですよ。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

やっぱポイントなのは、積立も定期預金も会長が最初の頃言ってたんですけど、あのいつでも解約できるんですよ、明日にでも。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

でも銀行の人とか「5年定期」っていうと「5年あるもんだ」とサラリーマン的には思うと。

北野会長：

でもね、その一言がさらっと言えなきゃ勝ちはとれんがやて。やっとなんと言ってるようじゃあかんがやて。だから「最近なんかお金余ってねー」みたいな・

真田孔明：

そこで後ろ向く、と（笑）この動作が。

メンバー：

一番大事なことなんですね、そこ。

北野会長：

一番そこが大事なんやて。で、都合の悪い時は三度笠ゆうて傘の中で、傘で顔を隠すように・・・（笑）

メンバー：

（笑）

北野会長：

これを三度笠ゆう。都合が悪かったら三度笠。そういう具合に分類すると結構人生も面白いちが。ねえわ、もう。（お酒）

サツチェル：

はい。

真田孔明：

だから親戚一同で余ってる金あったら、普通に個人口座に預金しても信用になんないじゃないですか。だからでも僕法人口座に全部入れてるんですよ。貯金するんだったら。

メンバー：

それって初めても今までゼロじゃないですか。通常人じゃなくていきなりで50・50・50って見せてもなんか10・20・30・30・30とか・・・

北野会長：

もうたいして変わらん。50万でも。

メンバー：

（笑）

メンバー：

ながーく続けとくのが・・・

真田孔明：

だから借りた額がマックス。

メンバー：

あーそうですよね。

北野会長：

だから、一番効くのはあんたたちはじめやから、元本と利息返済しとるやろ？返済しながら右側に預金積まれたら相手はひどいよ？

サッチェル：

そういうことだ。

真田孔明：

そういうことだ。

サッチェル：

返済しながら、だからそのバランスで返済と毎月10万でもいいんだ。年間120万でもでかいよ。返済つつたら40万ぐらい毎月返済するんだから。

メンバー：

代表の個人口座にも役員報酬みたいなものの使わないお金が積み上がっていったら・・・

北野会長：

そうそう。でね、次金借りるときは「絶対に返済のハンコを押さん」が。これが人間の人生の半分以上を決める。約定書は書いても・・・例えば4,000万借りました。毎月20日に何十万返済しますって言ってサインはせんが。

メンバー：

サインしない・・・

北野会長：

しない。ね？これを頑張れるようになったら一丁前。

真田孔明：

しなくても借りれるんですか？お金。

北野会長：

そんななんぼでも借りられるよ。

真田孔明：

(笑) これは・・・

北野会長：

いや、そういう具合に借りなきゃ金っていうのはなんの値もないからね。わかった？約定書は書いた。借用書は銀行の手形・・・紙ね、でハンコ押す。5000万。

サッチェル：

手形に押す。

北野会長：

手形に。返済のあのA4の紙に押しとったってあかんがやて。わかった？こう長い手形にドンッと押すんやて。で、6ヶ月、だいたい銀行は6ヶ月に決まっとるから。それが一番大事よ。それが5,000万借りられたら、いつか5億になる可能性があるんがやから。5億になったら、ま、1%やったら利息が。だから2%以上で儲ければお前倍儲かるわけやないかい。ね？金っちゃあそういうことをいうとる。それと今株暇やから、例えば通貨ね。さっきのブラジルでもええがちゃあ。28円が30円になった。それからタイが、こないだ3.3程やったやろ？2.5になったときもあるんやから。高いときは4になった時もある。そりゃあマレーシアリングも25円から35円くらいになっとる。ね？いやいやこういうことを覚えとってよ。例えばルーブルが、ロシアが30円やったん今15円やからね。金さえ持てばバカな言い方やけど、そんな株よりももっと、返さん金ならそこ順番にばらばらにしとけばよ、例えば今やったらインドネシアとかさ。そういうことちょっと考えとけば面白いんでない？みなさんがまゝ60ぐらいになるまでにずっとこう研究しとけば見えるやろがいよ。これはやっぱ経験に勝るものっちゃあ絶対にねえんやから。経験が一番大事。で、女郎買ったんは女郎買いがあっこが3,000円、ここが5,000円っちゃ毎日考えとると、すごいわかりやすいよね？通貨って。

真田孔明：

高くなって思ったら（笑）

北野会長：

そうそう。だからわしらは本当に女郎買い通貨ゆうて持っとるわけよ。ね？で、こうバカなことゆうて喜んだるわけや。そういうのが一番大事やよ。

真田孔明：

（遅れてきたメンバーに）おつかれーす。

北野会長：

でも、手形飛ばしとけば金利はどんどん安くなるし今は一番いい時期やよ。

サッチェル：

それはいいですよー。

北野会長：

最近はね、投資信託は全部いま言われてるように、全部がマイナスやからだから一番下がったリアルが一番上がるんでないかなって言うのがおれの長期予報で、投信は全部いかれとるんやて。なぜか、原因がなんかはわからねえんだけど、おれも投信やって初めてやもん。

メンバー：

はじめてなんですか？

北野会長：

こんな下がったのは。だから孔明さんところに電話した時分は45～50%やった、利回りが。ま、あんなバカな儲かるのもおかしいんやて。あれも異常気象や。今回のあのリアルもダウがやっぱ効いてるんやて。

真田孔明：

（メンバー間だけで話しているメンバーに）なるべく会長への質問に。収録してるんで。もしなんかあったら。

メンバー：

いいですか？

北野会長：

ええ。

メンバー：

物販やっていて、一番かは言ってないんですけど月収3000とか全部売れたらいいのかなあというふうに思ってまして、で、その時1社しか会社がないんですけど、タイで伺った時に分社化をしてると聞いて、最初に考えてるのは2社に分割しようと、で単純に横に分けてしまおうかなと思って。この前もタイで伺った時に会長が「脇が甘いから前に一個、いや、後ろか。後ろに入れたほうがいい」っていうことをおっしゃっていたと思うんですけど、左右でなくて上下？ですか、後ろにっていうのは・・・どういった・・・

北野会長：

いやいや、トンネル会社にする。同じもんにするんやったらトンネル会社になるから前か後ろにしかできんやろ？ね？だからまったく・・・例えばいまマンション業をやってる。いまから物販を始める。これは横にこう並ぶんやね。だからおれが言ってるのは縦は同じやで。さっきの暴落と一緒にやから。縦やから。縦に置くって同じなんやて。だから本当は一番いいのはこう横の玉を作ったほうがいい。ね？

メンバー：

仕入れ元と・・・上流と下流っていうんですか？仕入れ元と仕入先を・・・

真田孔明：

売り先？

メンバー：

売り先に作った方がいいってこないだおっしゃられていて・・・

真田孔明：

仕入れに作ったほうがいいっておっしゃってたでしょ？うしろに。

メンバー：

あ、仕入れに・・・

北野会長：

そうそう。

メンバー：

それから・・・

真田孔明：

なんで売り先じゃなくて、仕入れのほうがいいですか？ってことですよ？

北野会長：

あーいやいや、だから。仕入れんところにかましたら伝票一枚やろ？売上んところに作ったらお前社名は変えんならんし、全員に請求を出して集めんにゃならんやろ。そやろ。だから手前に作っときゃいいんや。

真田孔明：

あ、そうか。仕入れ元一社しかないから。売り先だと何社もある。

メンバー：

あー、そういうことか。

北野会長：

孔明さんから仕入れました。皆さんに僕が売りました。そやろ？

真田孔明：

あ、そうか。みんなに迷惑かかんないわけですね。こっちに。

メンバー：

あーそうですね。

真田孔明：

伝票の問題で。だから仕入れ元を他社に、違うところに変えましたでいいんですよね。だから後ろに作っていく。

北野会長：

やから、動かず働かずみたいなのはこういうことよ。聞いたことを噛み砕いてどうしたらいいかっていう戦略を組むことが一番大事なんや。

サッチェル：

そのためには暇じゃないとダメだってことですね。

北野会長：

そうそう。僕は暇と金がありすぎて弱ってます。いやいや。することがねえんやて。もう死んでしまうがやて（笑）

サッチェル：

時間が大事ですよ。考える時間が大事。

北野会長：

時間で勝負しとんやから。金で買える最大限は何かっていうと時間なんやから。みんな時間が大事やよ。金は印刷すれば、印刷屋でも作られるから。でも時間の偽札は作れないやろ？

メンバー：

質問いいですか？

北野会長：

うん、いいよ。

メンバー：

自分は物販じゃないんですけど、母の物販でその銀行と付き合いなくて、で私創業した時にその私と創業融資受ける担当からその母の方の物販にも融資したいっていうことで、でいろいろ話した結果向こうから手形で短期でなんか貸したいみたいな話があって、それなんか最初ってのは借りたのはそのまま一回素直に返してその時にちょっといろいろ話なるのか、その保証協会付きなんで最初にこの金利分は引いて残った分を貸し付けますみたいな感じで言われたんですけど・・・

北野会長：

あんたは成績えんがやて。最初から手形やる？で、金利は先にくれいうとるんやる？いつものモデルコースやから、半年たったらまたもう半年お願いしますよって頭下げとくが。

メンバー：

頭をさげる・・・

北野会長：

そうそう。頭を下げて、手形を見せながら右側に積み金をこうしていくんがやて。また宜しく願いますみたいな感じで。だからこっち積み金やると、「チッ、野郎舐めとるがか」ってこう思うぐらいいい男になっていく訳やないかい。だから次、次の金額は借りた額の倍ぐらいをさらって言ってさ。

メンバー：

(笑)

北野会長：

で、あとは都合が悪くなったらこうやって。ここが大事やよ。

真田孔明：

急に音信不通になっていくみたいな。

北野会長：

三度笠で・・・

サツチェル：

あ、そうか。元本返さなかったら積み金入れられるんですよ。その金で。

北野会長：

そやる？こんな簡単な・・・

真田孔明：

借りた金入れてるだけ。

北野会長：

返済額を、シラヘット積み金に入れていくがやて。

サツチェル：

手形だったら半年後ですもんね。毎月返さなくていいから。

北野会長：

だからそこで言わなきゃ。「もう半年経つんだけど、積み金も増えてきたし、もう一回行きませんか？」みたいなことゆうんやて。で、相手がだめやゆうたら、手形落とさなきゃいいやんそんなもん。

真田孔明：

あそっか。これテストなんですね。最初の登竜門の。だから本当にこのうまく200万ぐらいでジャブ打ってるんですよ。で、この人がお金を欲しい人かどうかってのを見てる訳なんですよ。例えば、200万ポーンてきた時に、お金余ってるんだけどって言って毎月毎月6ヶ月分けて200万を。全部ちびちび入れていったら、「あ、余ってんな」ってなるんですよ。余ってますもんね、だって。

北野会長：

そうそう。だからどこでパツと背をうまいこと見せるかや。

メンバー：

借りた分をそのまま積みんでけば・・・

真田孔明：

積み金で。お金余ってる証拠だから。積み金って。

サッチェル：

その200万を入れてけばいいんだよ。分割して。

真田孔明：

分割してね。6回に分けて。

メンバー：

で、その時返してくれと言われたらそのまま返して・・・

北野会長：

「返せ」いうたら相手が器量ないんやから、預金で全部持っていけばいいんや。それで終わりや。

メンバー：

もしよかったら倍ぐらいをみたいな話を・・・

北野会長：

倍じゃない、例えば倍以上をさらっと言わなきゃさ、で、その借りた金をまたすぐ使わんだらまたこうやってこっちに預金していけばいい。

真田孔明：

で、これが信用でどんどんと増幅していくまでやっていくわけですね？

北野会長：

そう。

メンバー：

ですから基本積み金はずっと入れとくわけですね。

北野会長：

そう。見せとくだけやて。

真田孔明：

だから僕たちまだ初心者じゃないですか。だから最初に集中するのはお金増やすことじゃなくて信用なわけですよ。信用経済だから。

北野会長：

いや、ちがうんやて。彼はネットにこう書いとるんやて。2,000万を毎月5万円で貯金してったら33年かかったんやろ？じゃあ、2,000万でそうやろ？じゃあ2億やったら？

真田孔明：

333年。

北野会長：

ね？おかしいやろ？こういうことを皆さんにいつもいっとるんやけど、聞こえない？いやいやだから、手の届くものは取れるような気がするが。でも今333年って孔明さんがいうたら誰か生きとるものおる？

サツチェル：

いないです。

北野会長：

そう。そういうことをまあ脳に考えなきゃ。だから焦ってるから33年いうたら「自分の年40やから73か」こうバカなことを思うわけや。そやろ？桁が一つ変われば考え方がまるっとこうなるやろうよ。

サツチェル：

あー確かにそうですね。確かに。

メンバー：

300年現実感ないですもんね。

北野会長：

そやる？330年おれ生きるから支店長。貸しとけよ。そんな誰も信用せんで。

真田孔明：

だからこれが増大していくと、この余った金が増えてくからこれでちびちびとやってけばいいわけですよ。株とか投資信託。

北野会長：

いやいや違うんやて。金は余る原理になるがやて。よく考えて。333年返さんがやる？利息しか返さんがやから。元本はいつも上がとる。元本はバンバン借りてくが。ね？どんどん利息払っていけばええがやないかい。借りたお金から払っていくんやよ？誰がお前スコップを持って稼いどるよ？借りた金から払ってくが。もっとおもしろいこと。借りた金から金利払うやる？一括で。借りた金を預金するんやて。差はねえんやもん。例えば2億借りたら、1億を積み金にまわすと1億を株に回しとってみいよ。お前1億の積み金の力はあるぞ。関係ないんやもん。

真田孔明：

確かに1億を預金できる人なかなかいないですよ。借金ぐらい。

北野会長：

そやる？

真田孔明：

現金だからね。

サツチェル：

半分半分でもありですね。

真田孔明：

だから例えばアルバイトとかパートとかできる人は最初に2,000万全部投資に入れちゃって、アルバイトの金を全部積み金していくっていう。

サツチェル：

あーありあり。

真田孔明：

それなら最初に2,000万全部分配・・・（笑）アルバイトの履歴じゃ分配金わかんないじゃん。間違いない。アルバイト。アルバイトしながら居合抜きするっていう。それじゃあ先にこの2,000万使えるでしょ、貧乏なうちはね。

北野会長：

だから金は使うと溶けていくがやて。一番溶けん所はどこかって銀行なんやて。

真田孔明：

あー。

北野会長：

銀行に金を積んで、銀行から玉を引っ張るんやて。これ2,000万やと思っとるからみなさんちゅえんやて。20億ほどになってみられ。んな。

真田孔明：

3,000年（笑）中国の歴史・・・

北野会長：

わかる？だからおれはうちの担当がさ、若い支店長、ラグビー、いやサッカーしとったって。なんかホラ吹いてきて初め「3億借りてくれ」いうたからおれはパーンというたった。この前もきたけどコンマ6やったら180万。12ヶ月で割ったら月15万円。おれの飲み代でもいかんがそんなもん。な。全部持って行かれ。その後来て、いやそのなんとかゆう資金があるんやと。で、2億いらんかゆうから、支店長の裁量で出してもらう2億ぐらいならね、いつでも・・・。2億借りてお前次一週間ほど前にさ、今度栄転になったもので、うち1社で5億も貸し付けとるんやど。コンマ6とコンマ5や。そやる？

真田孔明：

5億。

北野会長：

5億。僕はジェントルマンやから。

真田孔明：

体育会系っていいですね（笑）

北野会長：

そうそう（笑）

真田孔明：

確かにね、僕のアメフト部の同期も富裕層担当やってるんですよ。

北野会長：

そういうのが一番ええんやて。

メンバー：

そういうとこパーンといけるんですかね？体育会・・・

真田孔明：

探してる。アグレッシブに。お客さん・・・その大富豪を。

北野会長：

ああいうのは本当にね、飲み屋連れてってバンバン接待すると、体育系やからさ、こうワッセワッセいうタイプやがね。あれ結構乗るがやて。

サッチェル：

（笑）なるほど。

北野会長：

それで、支店長が変われば一番いいのは、前の支店長と約束しとったゆうんやがて。それはもうさらっというよ。いや前の支店長と約束しとったんやと。6ヶ月経ったら6ヶ月の手形5,6枚は回すゆう約束だったんやからって言えばええやないか。ね？相手はそこでおれを断れるか断れんかは地獄の3丁目や。相手がさ、新任で「どうも」って来てやぞ、「いやぁ私はできんから返してくれ」って言った時に「おうわかった」いうてパーンと小切手一枚切られたら男やる？わかった？ここが一番大事なとこや。だから金は使わんともっとらにゃあかん。

サッチェル：

なるほど。

北野会長：

無駄使いはあかんがやから。

サッチェル：

返されちゃったら困るの支店長ですもんね。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

積み金で2億ある状態で怖くて言えないですよね。相手も。（笑）

サッチェル：

返せって言えない。

真田孔明：

もってけっと。

メンバー：

怖いですよね。

真田孔明：

でも定期預金と貸し付け全く違うものなのにね。

北野会長：

だから法人で借りて一番嫌なのは、個人で預金しとくとさ、全くどうしようもないお金なんや
ちゃね、本当はね。んでさ、あーわかったってパーンと小切手一枚切られたら、相手がすぐ飛
んでイスタンブールやぞ？

サッチェル：

そうですね。

北野会長：

おれが飛ぶことはねえんやから。

真田孔明：

だからこれが空っぽになると「返せ返せ」っていつてくるわけですよね。

北野会長：

そうそう。

メンバー：

口座の中までゆとり持しておかないとダメですね。

真田孔明：

ゆとりゆとり。

サッチェル：

半分。半分は外だから。

北野会長：

人生もゆとりが一番大事。

真田孔明：

だからそれも最初焦ることなく、給与収入を与えていくかのごとく銀行に。

メンバー：

毎月毎月やっていけばいいんですね？

サッチェル：

10万でも20万でも。

真田孔明：

だから暇だったらアルバイトしてたらいいんだよね。この積立預金分。暇だったら。

メンバー：

そうですね。

真田孔明：

で、アルバイト先でお友達作っとくと（笑）

北野会長：

だから見せ金も大事なもん。

サッチェル：

なるほど。

北野会長：

見せ金も大事なもん。だから差はハッキリが8割ぐらい占めとる・・・おれからゆうと。

真田孔明：

最初例えば何ヶ月間か見せ金焦って入れなくても、数ヶ月経ってから入れだしたほうが真実味がありますよね。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

最初に引っ張ったばかりの人が、いきなり最初の初月から余ってるとちょっと怪しいじゃないですか。

サツチェル：

いいタイミングで1年ぐらいして、入れておいたら「あ、儲かってるんだ」みたいな。決算書は5,000万でしょう？

真田孔明：

5,000万。

サツチェル：

「あ、本当なんだ」ってなる・・・

真田孔明：

なるよね。余ってるからっつって。だからこれに初年度だとなんか逆にね・・・

北野会長：

結局ね決算書の作り方なんやて。5から4引くとプラス1なんやから。4から5引くからマイナス1になるだけやゆうことを知っとれば、決算書なんてなんぼでもつくれるがやから。

真田孔明：

あの銀行にそういえば、個人口座ってもってたっけ？弟。つくらせないと。それでダブルでいれさせよう。これ、手を付けんなっつって。このお金は。

サツチェル：

毎月50ずつ積み重ねてたらさ、どんだけなるんですか？

北野会長：

50多いね。

サツチェル：

どれだけ利益出てるのってなっちゃう・・・

真田孔明：

だから、弟の個人口座に20、こっちに50ぐらいでいいんじゃない？

サツチェル：

70で12ヶ月だと、840万でしょ。利益840万以上は結構すごいですよね。法人の利益。

真田孔明：

普通預金と定期預金に分けていけば、普通預金にいられておく分にはだってまだ借りたお金がそのまま入ってるだけっていうのがあるじゃん。

サッチェル：

決算書と合わなくなる。

北野会長：

個人口座にいられていくがやから。

サッチェル：

個人口座・・・

北野会長：

いやだから法人口座で借りたんやろ？で、法人口座の預金と個人口座の預金は別にせえって言うとなんかやて。そしたらお前もっと力強くなるやろう。

サッチェル：

決算書は例えば利益が200万しかないのに、貯金ができる金額が800万とか900万になっちゃったらそのお金どっから来たのってなんないですか？

北野会長：

いやいや、あのね、税務署と銀行は全然別のものやから、銀行は儲かっとるものは優先的に大事や。わかった？

サッチェル：

銀行に決算書を出すじゃないですか。その時の一番下の決算書の数字とそれまでに積上げた額が合ってなかったら・・・

真田孔明：

え？だってもともと最初2,000万借りてんだよ？銀行から。てことは2,000万分入れといたとしてもそれは借りたお金だもん。利益じゃないじゃん。

サッチェル：

あ、借りたお金で貯金すればいいのか。

真田孔明：

余ってるって。だから2,000万までは利益じゃないんだよ。銀行に入れても。

メンバー：

借りたお金は入れてるけど、余裕があるってって・・・

真田孔明：

そう。で決算書の黒字分を定期預金に入れておけばいい。普通預金と定期預金。うん。

メンバー：

定期は定期預金に入れておいて、余ってるのは個人に・・・

真田孔明：

個人、あ、法人口座でも普通預金。

北野会長：

みなさん若いからここ5年ぐらいそういうことやっていると・・・

真田孔明：

チャラチャラと。

北野会長：

うんチャラチャラとやっていると、信用がつくんやて。普通の人はできねえから。

サツチェル：

そのうち信用がついたら結構あやふやになると。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

だからその間に暇だったらアルバイトとかパートやるか、ネットビジネスでパチパチやるかみたいな。

サツチェル：

なるほど！

メンバー：

今流れが来ようとしてるけど、まだ1,2年目だし。

真田孔明：

そうそう。焦っちゃいけない。

サッチェル：

なるほど。

真田孔明：

だから引っ張ったお金で塩付いたとしてもそれはアルバイトで返していけばいい。

メンバー：

確かに。

真田孔明：

一緒だから。先に借りたのか、どっちみち返していくお金だから。見えたでしょ？

サッチェル：

だから2,000万までは大丈夫なんだ。借りた金だから。利益じゃない。

真田孔明：

利益じゃない。借りたお金入れてるだけだから。だって銀行の金庫に入ってることになってるんだよ。使ってないんだもん。

サッチェル：

1,400万だよ。

真田孔明：

だから1,400万は返していいんだよ。いや、預金に入れていいんだよ。

北野会長：

だから、見える世界ね。返せるお金。これってのは見えるんやよ。ね？見えるんやて。だから333年になったら見えない金になってしまう。そしたら全く返さなくていい金になって・・・

メンバー：

パッと変わる時があるんですよね。ある一定の計画を越えると。

真田孔明：

この、ずーっと我慢してると、株のように普段は我慢してると。だから株のように普段はちびちびやってたらある日突然ボーンとくるわけですね。

メンバー：

確かにそうですね。

真田孔明：

だからそれまで暇だったらネットビジネスの稼ぎ方の本でも読んでようかな（笑）ゆっくりやってね。

メンバー：

ちびちびやってこうかな。

北野会長：

あのね、なんせちびちびが一番大事。んでねムリ、ムダ、ムラをせん金ってのは無くならんから。ここが一番大事なんやよ。だから派手に生きない・・・わかった？そんなポルシェ乗ったり、フェラーリに乗ったり、ギアをガンガンいってこう壊れるギアを入れとっから壊れるんやて。

真田孔明：

町で有名になっちゃったら銀行の耳に入っちゃいますもんね。あそこのやつはフェラーリ乗ってたよとか。

サッチェル：

なるほど。

北野会長：

だから見える世界と見えない世界。でもね、2代目3代目の社長になったら、もうもともと見えとるやつが見えるわけねえんやから。

真田孔明：

そうですね。最初にそれをやられるにしても。

北野会長：

わしら333年でもまだ想像はできるけど。わかる？ここがやっぱ違うやちゃ。だからSHARPやら東芝はおれからゆうと最初の社長の時代から粉飾決算やとった。金借りる為に。あ！あのね、大手はほとんどそうやよ。儲かった大手なんてほとんどいねえんやから。いや、本当よ。

真田孔明：

銀行に経営権を渡したところは生き残ってて、そのまま引き継いだところが粉飾決算で叩かれてるんですよ。あれ。だから僕の勤務したバンダイは僕の入った年に銀行の、UFJの人が社長になったんですよ。多分あれで大丈夫だったんだと思う・・・創業一族から引き渡して。

北野会長：

銀行っていうのは元は、高利貸しやよ・・高利貸し、銀行は。あんたら全然わかつとらん。あれ紙を貸しとるやて・・紙を。紙を貸して人の土地建物を乗っ取っていくが銀行や。わかった？
こういう具合に銀行を見とけばすごくはっきりわかる。銀行はただの紙を使って人の資産を盗んでいっとる。

真田孔明：

HSBCとシティバンクみたいに、ほとんどすべてこの掌握しちゃってるんですね。この繰り返しで。だから多分僕の勤務した会社も返せなくなっちゃって銀行に明け渡しちゃったんですね。

北野会長：

そうそう。まあ銀行ってのは永遠に太っていくが。で、銀行ってのは強い奴には戦争せんが。「このガキ弱いな」と思った先から食っていくがやて。

メンバー：

現物の資産をそこから取っていくんですね？

北野会長：

そうそう。

サッチェル：

勝手に増やした紙で。

メンバー：

紙切れで。

北野会長：

あれね、最後に財産をとられる時に一枚の手形で持っとる資産を共同担保に入れられるやて。で一枚の紙が飛んだ時に、全部とられる・・覚えとかれ。これがね、わしの友達もほとんどそれでとられたんやけど、私はやっぱだから会社と自宅は担保に入れんが。

真田孔明：

会社と自宅は担保に入れない。

北野会長：

入れないんやて。いや例えばマンションで3億ばっと借りて、甘い話くればどんだけでも入れとくと。で、すぐ言うんやて。甘いレート of 甘い話には。あとは絶対入れないんや。あとは粘る。「ああいつでも借りるよ」みたいなこと言うとしても、担保の話になったら・・

メンバー一同：

(笑)

北野会長：

三度笠でな(笑) これがねできるとできんじゃ天と地やよ。ね？都合が悪なったらこう三度笠やから。

真田孔明：

その結果でも貸してくれるんですかね？お金。

北野会長：

あのね、だから銀行は売り上げ。こっちは借入れやっちゅうに。売り上げなかったら支店長は首が飛ぶんやがね。やっぱ売り上げたい時は僕のところに来るやろがいね。「会長！」って。

メンバー：

これこうやる時はそもそも会わなかったり・・・

北野会長：

いやいや、だから支店長が「マンション担保に・・・」言うたら(三度笠)ほで、次来た時に「いや、担保もいりませんから」っていうと、「おお！いい話やの」と。昔から「待てば海路の日和あり」というやろ。

真田孔明：

あせんないで、前のめりにならないでっていう・・・

北野会長：

そうそう。だから前のめりになったらあかんよ。

真田孔明：

お互い駆け引きなんですね。ポーカーフェイスで。で、僕たちがわかってるのは向こうは売り上げが欲しいってことですよね。

北野会長：

この前も銀座でそういう交渉をしとったやろうがいよ。ビール何本で、「お前の力は何本や」とかさ。こう言うて遊んどるんやないか・・・そやろ？だから一番大事なのはそういうところを習って欲しい。株なんて簡単やわいね。俺のいうた通りしとればいずれは勝つ。お前らの根性ではちょっと難しい。言うこときかんから本当に。あんた出刃包丁でも持ってきてちょっと自殺してくれよ(笑) 本当ゆうこと聞かんやろがいよ。おれが「こうせい」ゆうたら全員刀持って下に降りて逃げてくやつやから戦争にならんやつやがね。

真田孔明：

敵前逃亡（笑）

北野会長：

いやだからそれがゆうようにみんな生きとるゆうことが一緒のことやね。いやなんか●●が中心になって、なんか魚をとって塩漬けにする会社つくるんやと。T塩漬け会社ゆうのはどうやかいね？（笑）

メンバー：

熟成されちゃうかもしれないですね。

北野会長：

いやぁいい名前かもしれんよ。

真田孔明：

さらっとしたあれが。だんだんと見えてきたね、なんかね。ポイントが。

北野会長：

いやあだから生きとる年代が違うから。わしらはこうやんちゃなんでもしてきたからなんでもたくさん知っとるわけや、タダそれだけ。だからおれはほ、グラフやとかデータとか、そんなもんにあんまり頼らない。自分だけ。自分に頼ってる。だから勉強はしないやろ？情報もあんま関係ないやろ？都合がよくなったらゴマも擦るし銀行もおだてる。やっぱここはね、もっと北のセオリーももっと高級なところ行かんと、女を餌にして金をとるとかさ。

メンバー：

（笑）

北野会長：

ここら辺までいかんとね。本当のセオリーじゃねえんやて。本当のセオリーは「餌をつけて魚は釣らにゃあかん」のやて。昔から「エビで鯛を釣る」っていうんやから。ここら辺から本当はおれのセオリーなんやけど、お前らまだ小学校一年やからさ、餌もつけんとって引っかけり釣るセオリーやから。まゝそういうところの違いやろうね。

メンバー：

もう一個いいですか？

北野会長：

うん。

メンバー：

今回、一年も経たないうちに担当と支店長どっちも転勤しちゃったんですけど、そういうタイミングでしといたほうがいいことは、本当に考えなくていいですかね？

北野会長：

あ、銀行はね、支店長も担当者も変わればほとんどは栄転やおもうんやて。この時期やから。だから次の人がまたあんたのところに回ってくるからまあ「支店長も担当者もいい男やねー」とかさ。それくらいのジョークは言っとけば。やっぱジョークはいいもんやぞ。やっぱ女見てあんだブスやねって言ったらどんな女でもやっぱ怒るやろ。ちょっと一回練習で順番に言っこいよ。

メンバー一同：

(笑)

メンバー：

結構賭けじゃないですか (笑)

北野会長：

いや、そういうところに人間の真実があるんやて。本当は。そんな言い訳じゃねえんやから。だから真実がどこにあるのかは見るのは一番大事。

真田孔明：

例えば「昔いたあの役員まで登った〇〇さんに似てるね」とか。(笑)サラリーマンはこれがかいですよ。会長みたいに何年もやられてる人だと。

メンバー：

やることが似てるね。みたいな。

真田孔明：

なんか発言とか・・・門じゃないかとか

メンバー：

うれしいですよ。

店員：

鴨の胸肉をご用意いたします。

北野会長：

鴨？鴨胸。

メンバー：

友好的な関係を・・・

北野会長：

そうそう。だからね、銀行とは笑顔で。で大体ね、銀行に横柄な人は貧乏人に決まってるんやから。

真田孔明：

あー。

北野会長：

本当やよ。銀行員がいうね、銀行に横柄なお客さんっちゃあ貧乏人がほとんどや。だから金持ちになるってことはその反対をしとればええんやから。そやろ？●●ところはマンションの賃貸をやってるんがやけ？ふーん。賃貸管理は？管理はしてねえの？大家さんだけ？集金は集金業務？不動産にやらせとる？

メンバー：

管理もやった方が儲かりやすいですか？

北野会長：

管理でもやっぱグロスが大きくなると3%儲けがでる。だから3%で、売上の3%で社員を使っただ方が得なら社員を使うんや。でもね、クール5やったら社員を増やせば、社員の方の面倒を見んならん。これは作らん方がええんやて。

真田孔明：

リスク上がりますよね。社員の。

メンバー：

人を抱えて利益が出なくなっちゃう。

北野会長：

そうそう。

メンバー：

なんとなくそう思いますよね。

メンバー：

外注の方がいいかな。

真田孔明：

外注の方がなんかが起きた時にね、僕たちはリミットがあるから。それ以上の損失にならないわけですね。

北野会長：

うちはやっぱマンション業務はやっぱみんな不動産屋に全部集計してもらってるんやて。そしたらほ、細かい銭やりとりせんでもいいし、金は全部集めてくれるんやから、老人ホームも全部そうやって不動産屋からうち3%で・・

真田孔明：

あ、老人ホームのお金の回収をですか？

北野会長：

そうそう。あれも3分で業者に任しといた方がいいんやて。骨折した・死んだ・転んだ・嫁姑問題があるやろ？俺入っとったらそんな「ばあちゃんね〜」って毎日いわんがやち。

真田孔明：

(笑)

北野会長：

ひどいからそんな業務はしない。

真田孔明：

不動産屋がやってるんですか、それを。

北野会長：

そうそう。地元の不動産やよ。全部回収してくれる。

真田孔明：

おー。

メンバー：

3%いいですね。

北野会長：

3%や。集金の3%やから。全部は銀行口座に印鑑取ってやるから。もう降りんだら即契約解除みたいなもん。だけど預かり金から差っぴいて、契約は解除しますよって念書書いとかから。老人は特にそういうのをせんとダメ。老人はいつ死ぬか知らんし、いつボケるかわからんから。そんなのは自分の担当にしたらひどいよ。だからそういうのは自分じゃ担当しない。そこは全部外注。

真田孔明：

それを不動産屋さんにやらせるっていう発想がなかったですね。

北野会長：

自分とこにも不動産屋持っとるけど、それ出ちゃああかんやろがいよ。自分とこは甘い不動産屋やと。

真田孔明：

何にも必要ない・・・

北野会長：

そうそう。で日本ピンハネ工業の世界や。いやいや、下請けに3%いうて決めんだかいね。ね？孔明に決めたわけや。●●が俺に5%くれるわけや。●●と俺は5%で契約してるわけや。孔明と俺は3%。

真田孔明：

あー、中抜きだ。

北野会長：

そう。日本ピンハネ工業。これが一番甘えんやて。

真田孔明：

最近流行ってるAirbnbの発想ですね。Airbnb家賃で借りて、貸し出すみたいなの。

北野会長：

あれやと、Airbnbやとまだリスクあるんやて。でも俺が●●と5%で契約して孔明に3%で下請けしてもらえれば、おれはただの2%はつるだけやよ。

真田孔明：

うわー頭いい。

北野会長：

まあ僕は引き算しかせんから。引き算だけでええんやて。商売に大学いかならんような難しい計算なんて一つもいらん。

真田孔明：

引き算だけ。

北野会長：

引き算だけ。

メンバー：

掛け算とかすらいらない・・・

北野会長：

いやいらねいらね。

メンバー一同：

(笑)

メンバー：

引き算だけ。

北野会長：

経営者は。あ、従業員は違うよ。従業員は家賃×12ヶ月はいくらとかさ。それは数字打ち込むだけや。あんなのシステムやから。経営者にはそんな掛け算とかいうシステムなんかいらんが。経営者は総売上から経費引いたら下が黒か赤かしかねえんやから。9から8ひいて1残るのも、5から4引いて1残るのも同じ1なんやから・・・わかった？難しいここ一番。簡単に言っとるけど、この単語が一番難しい。人間っちゃあ案外人生なんてそんなもんなんよ。いやいや本当そうやよ。おれは人生のすべてはそうなんでないかとおもう。人生はマトリックスみたいなもんや。おれみたいにだから一生仕事せんと遊んどる奴もおる。だらだらと。おれは明日から、明後日からハワイ行って2ヶ月半ほどハワイやから。6月になったらまた東京で。だから来月は・・・

真田孔明：

ラスベガス。再来月はハワイ。

北野会長：

次東京にしよう。

真田孔明：

あ、東京ですか。

メンバー：

何度もでてるかもしれないんですけど、オリンピックの後って、どうなるんでしょう？日本が預金封鎖するみたいなネタとか、結構ありまして。どうなるんだろうと思って。

北野会長：

預金封鎖は絶対ない。いやアメリカに950兆貸しとるんやよ？

メンバー：

それ聞いてびっくりしました。

サッチェル：

いやいやそれ言ってますよ。会長が。

北野会長：

でもね。日本の国ってのは、いつも一緒なんやて。あの何銭がインフレ。これが何円に入った。昔は何円が一番でかい単位やったのに、1000倍ぐらいのインフレをやっとる。だから今回もおれが思うに、まあこないだまで200兆ゆうとってうまくいかんだ。バズーカは構えとらんけど、今度は3~400兆バッカーンとやらんと。

メンバー一同：

えー！（笑）

北野会長：

いやいや、方程式合わんやん。いや、それか永遠にインフレの日本にいるかよ。日本はやっぱ実際脱出したいから。おれはなんでも日銀には手があるんやから実践するだけや。こないだマイナス金利にしたやろ？お金はだから銀行が持てないっていうシステムを作ったんや。あれマイナス金利、0.1からどんどん増えていってみろ。どうしようもねえぞ。そうすれば必自然的にバブルが起きる。

真田孔明：

貸すしかないからですよ。

北野会長：

そう。銀行はすでに、さっきタクシーの運ちゃんが言った。どっか築地やらそこらへんのマンションが高くなっていっとるんやと。

真田孔明：

タクシーの運転手が言ってましたもんね。

サッチェル：

あ、売り時だねって言って。

真田孔明：

しかもなんか会長に向かって、「8割で売ったほうがいいですよ」とか（笑）10取ろうとしな
いで8で売ったほうがいいですよって。

北野会長：

だから、運転手さんがいう通りいうようなもはや時代に来たってことは・・・

メンバー：

すごいですね。

サッチェル：

売り時。

北野会長：

頂上に・・・

真田孔明：

来てるってことですね。

北野会長：

間違いない。そやる？

サッチェル：

靴磨きと一緒になあ。

メンバー：

ブリーフィング前に、そのお金いっぱいドルに全部しといた方がいいですかね？

北野会長：

そんなことはないやろ。

メンバー：

円がハイパーになって1ドル150円になったりとか・・・

北野会長：

あ、そりゃバズーカが出ればなるよ。

メンバー：

今だからドル持っという方がいいのかなあとか思ったりしてるんですよ。

メンバー：

ちょうど円高だしみたいなの。

北野会長：

80円からみたら113円やろ？高122〜3やろ？それみて半分からみたらまだこっちの方がちけえやん。400兆ばーんとでたら、それはやっぱドルやろ。

メンバー：

そうですね。

北野会長：

ドルよりもその時の一番安い通貨を買っといた方がいい。

メンバー：

ああドルじゃないほうがいい・・・

北野会長：

それも、そうやってみなさんにいうたらみなさん現ナマ買うやろ？現ナマやめとけ、ETF。あれは紙一枚やからいつでも売れるんやから。そっちのほうがいい。あの金も銀も油も一緒。紙のほうが楽。マンションは高なった言うても、売るのは難しい。だから難しいものをあんまり集めんほうがいい。

真田孔明：

現物でREITみたいなのが・・・

北野会長：

そうそう。だからそういう物体も大事。物体も大事。でもね。物体ばっか集めたら絶対に最後はボンやよ。物体だけはだめ。だから紙も大事。物体も大事。右手と左手みたいなもんで。そういうのが大事や。やっぱ資産も大事、目に見える資産。でも資産ばっか増えていってもね、住むウチ3件いらんがやから。本当に住むウチ3件いらんが。そういうやっぱ考え方を覚えとかんと、失敗する。で、紙が一番速いやて。証券とかさ、ETFとかあっこらへんは速いやろ？

メンバー：

すぐ売れますもんね。

北野会長：

それと売れん株は買わんこと。これは一番大事なことやね。

メンバー：

間違いないです。

北野会長：

昔からいうやん。「悪女の深情け」って、ブスは情けが深えんや。あれは売れんからくるんや・・わかった？そういうことをちゃんと脳にインプットしとけばわかるんやから。大体ねそういうブスの女とくっついたやつは、前から刺されとるものはおらんがやから。みんな後ろからこうブスっと。だからブスいうんがやから。

メンバー一同：

ああー！（笑）落ちがありました！

北野会長：

だからそういうことを早いウチにしとけば「あぁバカなおじさんがこういうバカなこというとったなあ」と思って、脳にあれば、脳がひらめくんやて。その時に。あなたモテるからっていうたって立ってもいいからいうて寝とったらあかんぞ。そのうち悪い女に寝て・・・

真田孔明：

やっぱり超能力だ・・・会長（笑）

メンバー：

全部切りました（笑）

真田孔明：

本当？（笑）超能力で当てるからね。会長。

メンバー：

心当たりがあるんですね（笑）

真田孔明：

あるよ（笑）（該当メンバーに）運気全部吸い取られてたじゃん。（笑）まだ未練が残ってるんじゃないの？JBだと未練あったよね（笑）

メンバー：

ありありでしたよ（笑）

北野会長：

いやだから昔から「未練残すな金残せ」ってことがあるんやから、未練を残すよりも金の方が寄ってけば、また金は持っとると新しい女も付いてくるが。わかった？こういう寛大な気持ちね。これ気持ちの問題やから。でも愛とか恋とかないから。心配せんでも。あやふやなもんは信じとったらあかんよ。

真田孔明：

確かに顔つきが、肩も楽になった気がする。確かに。

メンバー：

憑き物が取れた感じ。

真田孔明：

付いてた感じしてたから。

メンバー：

それがすっきりしてる。

メンバー：

いや、切ろうと思ってもなかなか消えないっていう。

真田孔明：

いや占いでみたら月修門の吸い取り系と付き合ってたんで。吸い取り系。

メンバー：

おお一吸い取られまくってたんだ。

北野会長：

いやだから、心配いらんがね。男は金を持つとほっといても女は寄ってくる。女は寄ってくる。女はそういう嗅覚が発達しとっから、儲かり始めた男を見つけるのが女の仕事やから。こういうね小さくて弱くて優しい女が未来永劫男よりも人口が多いんやから。いかに強いかっていうことや。

真田孔明：

男よりいいもの食ってるんですよ。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

男同士で来たらこんなの食わないよね（笑）あ、はい！紅茶。（会長に）コーヒーです。

北野会長：

でも、ほとんどがそんなもんやよ。だから人は顔に出るがね。顔・目に出るっちゃうもんかさ。余裕は特に目に出るね。

サッチェル：

余裕は目に出る（笑）外さないですよ。会長はね。

メンバー：

なんか手放してみるとほんとなにやってたんだろうって。その時本当に盲目すぎてなんかにやってるんだろうって。

真田孔明：

なんか取り憑かれた顔してた。

メンバー：

あの時は危なかったです。

真田孔明：

で、●●買ったのあの時でしょ？（笑）

メンバー：

ちょっと前。下り初めたのがまさにあのジョホールバル帰ってからズドンって・・・もう戻らなかったですね（笑）

メンバー：

すげえー。あの時から50円ぐらい下がってるでしょ？

メンバー：

判断を誤り続けた・・・

北野会長：

でもね、みなさんは素質ある。あの時買わんと売っとったら、たくさんの利益を得とるんやから。

メンバー：

そうかー。

北野会長：

だから、あとはどこで判断の上と下をするかだけなんやて。

真田孔明：

みんな大暴落株を掴んでると。（笑）

メンバー：

めちゃめちゃ掴んでますね。

サッチェル：

でも今日の話ほんとわかった。「売れない時が売り時だ」って。本当すごいわかりました。

北野会長：

あのね、心に不安が来た時には売りどこ。ね？「あーへんやなあへんやな私どうしようもないわ」みたいになって。あっかが一番売り時。それをね、あの失礼やけど一週間ぐらい前にぴりぴりとそんなような予感がしてきたら、これ考え始めるんや。で、変な風が吹いたらまず手仕舞いする。ね？一切持ってた株を空売りする。たったこれだけなんやから。資金はね。聞いて。資金は●●一万株売っとけば800万できとるんやから。原資はとってしもたが。じゃあここで2〜30万、さっき930円で買った人もおるけど、800円、800万持てば原資は持っとるんやから。

メンバー：

それ分の原資は戻ってきますね。

北野会長：

そうそう。戻ってくる。そこを勝負せな。だから辻斬りと傘切りは全く違うもんやということ。は今日理解しといてほしいや。簡単やておれもやらんなあかん。理解してくれましたか？ここらへんがおそらくね、わからんがちゃの。でも、常にそうやよ。だからおれはみんなのどうやって聞こうがないから、●●が悪人の心に染まっとった時から、最近仮面をかむった悪みたいな顔しとるやろ。悪はこの中におる。表面が軽くなってきた。彼は今日も軽いて。●●も会った時おもたあなって感じたから、まあおれは「肩が重いんでないかなあ」っていう感じしたんや。おれ見とるのはたったそれだけやから。今日●●みたら幸せいっぱいみたいな顔しとるやないか。人の心っちゃそれくらい・・・変わっていくもんも人の心や。でもね、一番変わるがは男なん。こう早変わりで、結構男っちゃあ変わっていくもんや。特に目に出るがやて。淡々としとるやつはね、やっぱ淡々と過ごしとる。自分をもっとっから。ところがね、目が重くなったり、こうやって目がお、一気に軽くなってきたりすると・・・

真田孔明：

輝いてきたり（笑）

北野会長：

そうそう。だからそういうのが見えるんやて。おれ結構失礼なことばかり言うけど・・・

サッチェル：

いや当たってますよ。

真田孔明：

外れたことないです。

北野会長：

おれは勘だけで生きとるタイプやから。あの「考えて」とかそんなことはあんまり・・・（笑）で、おれらから見て「こうやな」と思ったら、きっとこっちには肩回っとらんやろうからさ。やっぱ調子に乗ってきたらサッチェルお前女にモテるからって、お前がモテるわけじゃのう。金がモテとるがに。マチガイ・キチガイ・カンチガイ（笑）こんだけいうとってまだ愛に溺れとっからね。

メンバー一同：

（笑）

北野会長：

ほって100回ほどいうたんやよ。愛に溺れたもんに立ち上がった男はおらのやから。愛で命をなくす男はいっぱいおるが。だから愛で、愛してって金とったもんは一人も居らんが。世の中ってのは。それほど愛っちゃあ男の目をくらませる。だから愛はあやふや。恋しとるうちは「ああ一恋しいな恋しいな」と思って、その女を遠ざけていくとそれはいい思い出に残る。思い出は大事やよ。思い出っちゃ大事。思い出は犠牲がないから。取られることがないんやから。思い出やから。

真田孔明：

男ってでも女性よりも比較的未練が残るじゃないですか？過去の女性に。男性として。

北野会長：

そやる？人の心っちゃあ、株やってもね、男と女も商売も同じ全部。ま、おれが思うによ。じゃあ方眼紙にさグラフ書いてなんぼ研究しても絶対あんな・・・今日もっと面白い話仕込んできたから。株の本書いとる人おるやろ？世の中たくさんおるやん。株の本書いとる人。ね。日本で株の本出した人で本当に自分で株をやった人は二人しかおらんがやと。

サッチェル：

二人！？（笑）

真田孔明：

（笑）

北野会長：

あんなたくさん本出てるのに（笑）二人だけやと。株をやった人は。すごい？データの的に。

真田孔明：

バフェットの教えとか・・・

北野会長：

そうそうそう。二人やと。

真田孔明：

だってバフェットの教えとか見ると、株は長期保有することと（笑）バフェットがそんなことしてるわけじゃないですよ？あの好きな会社をずっと持ち続けてることで、儲かるっていうこと、バフェットの本全部書いてありますよね。

北野会長：

あれは、だから書く人とやっとなる人が全く別や。

サッチェル：

そういうことですね。

北野会長：

ビルゲイツが自分の会社の株を空売りしとる。これが世界の一番の金持ちや。

真田孔明：

それ、そういう本出てないですよ？ビルゲイツ、あの空売りで大富豪だ！って（笑）ビルゲイツは会社を愛したことによって儲かったと。

北野会長：

でもね、今日おれの結論として、買いで儲けて空売りできんやつは絶対に落ちてんがちゃ。もう落下傘で落ちるだけあとは。なぜか言うたら度胸がないから。勝負かけられんがやて。そこには、未練がある、未練が。だから結構この言葉もいっぱい使とるんやけど、「未練残すな金残せ」って言うんやけど、やっぱ東子ちゃんを切れん孔明さんと一緒。あんたたち東子ちゃんにハマってるんやて。

サッチェル：

ハマってますね。

北野会長：

また東子ちゃんいうかわいい女がおるんやわいよ。んでみんなはまっとるんやて。だから・・・

真田孔明：

おてんば娘に・・・

北野会長：

北海道行って、魚でもとって塩漬けにして売っとれち・・・本当に。あんたたちの話はね、おれから聞くとどういふがかな。みんな気があっとるいうか、いい加減うちもんか、高みの見物やる？●●さんうまいこというた。下がっとるから心配することないと。逆にただ見とるだけやから。これはやっぱ天才的な話やなあと思ってさ。おれはやっぱねそれは避けてきた人間やから。常に勝負しとるタイプやから、こんな気持ちになったことあんまりない。おれだからさっき孔明がこの前文書でさ、おれが空売りや、中国爆発や。空売りや！ゆうたら、彼どうしたいう。「今度は高みの見物です」って。

真田孔明：

いやいや、あれは塩付いてて怖かったんで、玉がなかったんで。

北野会長：

おれあん時に、さっきも言っとったんやけど、すごいやつやなと思った。おれやっぱねあっこでやっぱ勝負かける。いや自分の判断がもう山東省爆発、東京も爆発、為替もこうやいうとやっぱ売りかけるんやておれは。じゃあやっぱそこで高みの見物言われる皆さんが素敵やちゃあ。誰も自殺しとらんがやから。これ見て見られま。一番目がこれやよ。ほって、こう見とるだけやち。お！カード順番に持ってって。落ちんだら順番に切るから。大丈夫や。

店員：

かしこまりました。領収証とかは・・・

北野会長：

領収はいらねえ。じゃあ上様って書いとって。

店員：

上様でかしこまりました。

サツチェル：

なんか世の中には株とか教えてる人いますけど、やっぱ違いますよね、会長。株だけじゃなくて、全部やっぱり繋がるんで。

北野会長：

株も人生も全部一緒やよ。

サツチェル：

株で勝ってても、その人はもしかしたら人生で失敗してるかもしれない、株では、うまくいってても。

北野会長：

だから株の本出した人で本当に株やった人が2人やゆうんやから。だから、ビルゲイツの本、
なんとかいう人出したやん？あーバフェット・・・

真田孔明：

バフェット本は多いんでね。株で。

北野会長：

ね。あの人たちは・・・あんたたちは保有株で勝ったと思っとるやろ？ペプシやとかコカコー
ラ・・・

真田孔明：

よく出てくるのはコカコーラ持ち続けてたみたいな話が・・・

北野会長：

アメリカンエクスプレス・・・

メンバー：

IT以外・・・

北野会長：

うん。IT以外は現物株で買ったということ、あれ全部嘘。

真田孔明：

（笑）全部・・・

北野会長：

あれ全部嘘。買ったのはAppelとGoogleとなんやったかなあ・・・あの会社がそうやって売っ
とるんやから。

メンバー：

あーバークシャーハサウェイ。

北野会長：

そうそう。あれ全部そうよ。あれお前だからグラフ書いて見たらそんなどんだけ上がっとる？

メンバー：

めちゃめちゃ上がってますもんね。

北野会長：

んなんな。だから上がったのはGoogleとかAppleとかMicrosoftのあの上がり下がりをとっとるが。あれだから親戚みたいなもんやよ。バフェットとビルゲイツは。

メンバー：

そうですね。

北野会長：

あれ手組んでやっとなるやから。あんたんとこ売ってくれと。値段下がるやろ。だからビルゲイツがどんどん空売りしとるんやて。で、ドッカーンって下がるやろ？じゃあ今度はバフェットと今度は二人でこう書いまくっとなるんや、自分。今回のタイからこっち、ばーんと上がったやろ？みんな覚えといて。どーんて下がった株は絶対上がるが。これ反動で上がるんやて。反動で上がっとなるだけ。でも今の日本は平和やから風なんて吹いとらんが。わかった？あれから風ども吹いとらんが。あれは下がってた勢いで上がっただけ。風は全然ない。無風状態。まだむしろ俺から言うたら下に見える。少し下に見える。

サッチェル：

今下がってますよね、実際、株。

北野会長：

そうそう。下がっとなる。でも株ってのは預言者が現れたら大体おかしい言うことを覚えとかんと。

メンバー：

預言者多いですよ。最近ね。

真田孔明：

世紀末預言者。

北野会長：

俺はだからそういうこと結構わかつつから。あの株でさ、こっち日経にも左欄の先物の波があって、右の欄にえらい上がりましたってでてるやん。下がりましたってでてるやろ？もう終わっとなるんや。あれはもう終わってしまっとなる。過去の出来事を書いとるだけ。だから物書きはみんな一緒やちが。相撲の解説者がいうとるんやて。あの時に、上手投げをかけたのが負けた要因やとかさ。あれ下手投げかけたら下手投げをかけられた人が負けたとか。だからそれと同じことなんや。

メンバー：

全部結果論だと・・・

北野会長：

いやいやだから、結果論だけをこう論じとるやつは、物を書くやつが論じる。わしら実行犯はそういう馬鹿なことはしない。

メンバー：

そこを参考にしてもなんもいいことないですよ。

北野会長：

全然。だからそれを言いたかった。ただの無駄遣い。だから女を見て、女神とみるがか、奴隷とみるがかは考え方やから。自分の一番いい女になれば女神。一番下の女になれば奴隷なんやから。わかった？そういうことをこう覚えとけば、感覚はつく。感覚はね、そういうとこしかつかん。お前だから目ん玉も回るとるし肩も回るとる人やから。

真田孔明：

陽創門発動した人お見通しだよ。

メンバー：

完全に発動してますね。

北野会長：

人間っちゃあねこういうことどっかでパーンと気づく時あるがやて。で今おれがきいってみんなほとんどわからん。でもいつか「あああの人一緒に真実やな」と思った時がこの現状やわ。これね一発辻斬り当てたら、もう買いなんてやとられん。ダルイって一週間経って、本当に一割儲けるのはひどいんやから。一週間待ってやぞ。おれだからこないだ、タイから帰った時に、NE250円で買って、281円やら2円で売ったが。お前30万ほどの儲けやのに、これだけかった。まだあと5万株ぐらい持っとるがやて・・・上がらんが今度は。あれから。

店員：

（カード）磁気の反応が・・・

北野会長：

本当？最近ね、おれのカードみんな磁気が悪い・・・アメックス・・・ハワイのカード繋がる？これ何カードだっけ？

店員：

えーVISAですかね。

北野会長：

あっVISA？こっちでやってみて。これダメやったら今度、順番にくれよ。最近パーフェクトに入るとるがに、なんかやけにおれのカードがね通らんがね。この前もどっか通らんだよね？上海か・・・

サッチェル：

あ、上海そうでした。

北野会長：

評判悪いから、ここに名前書いてあって「あれ？これダメや」いうて（笑）よかった？

店員：

大丈夫でした。

北野会長：

楽天カードが通らんでねなんかハワイのぐちゃぐちゃなカードが通ったみたいで。面白いね。これね、アメリカ行った時はハワイのカード。んで、こっちから日本から西行く時はHSBC。いやだからカード4枚あれば、携帯とカード4枚こうやって入れとけば、ね、世界はおれのものや。

メンバー：

ここにすべてつまってるんですね。

北野会長：

そうそう。ドラゴンボールの世界（笑）こういう馬鹿なことというとおじさんもみたことないやろ？いやおれはそう思っとるんやて。昔から。だから今どっか島でも買ってさ、住民を全部殺して自分の国家を作ろうかと、法律がおれやと。じゃあできないか言えば、あのプルトニウムさえ持てばなんでもできる。いやいやおれはだからいつも思ってる。原子力なんて作る必要なんてねえんやから。作ってあるプルトニウムを取ってきて精製すりゃおまえ、原価運送代だけや。だから物っちゃあ考え方や。仕入れ売っとる値段が来るよりも紙で売り買いしとったほうが楽やわね。で、40万や50万ほどついたいうたって、50万を労働対価でもらうってひどいよ？そやる？あんたボタン押しただけなんやろ？

メンバー：

そうですね。

北野会長：

だからそのほうが楽でないかと。

メンバー：

そのほうが楽ですよ。確かに。

真田孔明：

設定きめただけで。

メンバー：

そうですね、間違いないですから。

真田孔明：

いくらになったら買う、いくらだったら買うみたいな。

北野会長：

だから金は永遠に返さんと、ポチンだけを押す練習をすると、結構楽なんやて。

真田孔明：

だから株、皆さん社員がいたとしたら社員にやらしたほうがいいかもしれないですね。自分は指示だけ。冷静になれるんですよ。これすごい。

北野会長：

ワシなんかだからほ、週2回か3回おらんが、ゴルフいかんなあかんから。で、その日みんな娘たちになんせ、プラスになったら全部売れと。いくらでもええんやと。おれ一切引かんでもいいが。プラスは全部おれのプラスやから。もういくらでもいいんや。2円でも1円でもなんでも全部。これが一番楽。

真田孔明：

だから今回塩付いちゃった人ってのは、やんちゃなんですよ。一年生なのにいきなり三年生みたいなことしようとしちゃったんですよ。あの部活の一年なのに。じゃあそういう人はね逆に社員にやらせたほうがいいかもしれない。社員にやらせるとほら、相手飛ばすんじゃないかって不安じゃないですか？やんちゃな設定すると。超シビアな設定で伝えるんですよ。飛ばされたくないから。

北野会長：

すごい今ね。この言葉。一番の最高の言葉やね。本当はね、こないだいった二刀流を持ってて、こういう並みの日はね。で全部女の子にさせるが。で、女の子は号令に従ってやっ取るだけやから、プラスになったら全部売れて会長がいうと。ったら全部売るが。でマイナスは止めとくが・・・これだけや。で家に帰るときに、簡単。プリントアウトっていうボタンをこう一個押せばデータは全部積み重なってくる。ね？で赤のやつ売ったらすぐクビにすればええんやから。そんな馬鹿な女の子一人もおらんのやから。この性格やから、絶対そういうことする人はおらん。あとは、証券会社に、楽天に言うとか。銀行口座は一生変えんから、変更になっ

たら電話してくれって、携帯電話とメールと全部。簡単やろ？楽天にいうとくが。おれは絶対銀行口座を変えんから、ここに変更あったら。その女の子だけやろ。おれの口座変えられる力持ってるのは。

真田孔明：

あー、なんか悪いことしたらってことですね。

北野会長：

おれは娘にやらしとっけど、自分の娘でもなんか危ういなって思うもん。おれの娘やから、おれの寝首ぐらいは簡単に掻くよ。

真田孔明：

パパのお金私のお金みたいな（笑）

北野会長：

いやいや本当に。それくらい度胸があるんやて。

メンバー：

おー！。

北野会長：

で、こないだ、言わんだけど、150円の株が830円ぐらいまで行ったんやと。これだからもう危ないから817円で全部切れと。今日売って、それを今度は空売りせえと。娘はおれにいうたもん。「お金儲け簡単やないかね、パパ」って。指示がお前あったからやったやろ？うちの娘はいつもそういう。あなたは天才じゃねえ。Tを156円で買えたから。いや私の口座に15,6万株入ったから儲かっただけ、こういうとる。だからなんでお前がその感覚をね、身につけれんのかっていうたら、親の非難はできるんやて。でも自分ではわからんが。それがやっぱ人間の本性や。だからそんなような話うちん中に多いわ。小学校の5年の孫が、他の孫もおるんやよ？なのに小学校の孫が、このどうしたら勝てる？っておれがいうたときに、売りしかないよっておれはいうたんやて。あんまり考えてもおらんから、んならじいじがいうんやからいうて売りかけたわけや。この子だけやよ、儲かったん。あとみんな手仕舞いしたわ。手仕舞いしただけやった。恥ずかしい話。おれがあんないっぱいあんたたちにいうたができたのは孫一人だけやった。

真田孔明：

小学校5年生の子でも売りってできるんですか？

北野会長：

できるできる。

メンバー：

名義親じゃないですか？流石に。

真田孔明：

あ、名義親のです？なんか未成年だと信用ができないって・・・

北野会長：

んなんな、大丈夫大丈夫。ん？なんで？売とったよ。

真田孔明：

親の名義の口座ですかね、じゃあ。

北野会長：

売ったから儲かったいうてたもん。

真田孔明：

未成年の口座って信用取引ができないんですよ。

北野会長：

いやいや売りも買いも両方やっとするけど親の同意がないとできんっていう、それで連結になっ
とるか、親が同意して・・・同意したらできるんじゃないの？

サッチェル：

へー。

北野会長：

ちょっと一回調べてみて。

真田孔明：

はい。

北野会長：

だから商売っちゃさ、いろんな形あるから。

真田孔明：

法人でやってる・・・法人ってできる？法人口座って売りできるんですか？

メンバー：

できますできます。

真田孔明：

あ、できるんだ。早く法人口座に変えないと。僕のやつを。

北野会長：

法人口座なかったら、うちの会社法人口座ももっとから売ってやるよ。うちの場合はジェントルマンやから安く売ります。（笑）いやおれの目指すモノはどういうがかね。おれの目指すものやよ。コップがこうあるやろ？同じ大きさのコップなんやけど、これがずっと抜けることを望んどるんやて。おれのイメージは。このただのコップがこれをすり抜けていくがちゃ。でここに来るがやて。このイメージがおれのイメージやね。このすり抜けたイメージね。これを求めてただ生きとる。金なんか全然関係ねえ。金は借りとればええ。イメージとしてはこのイメージ。

サッチェル：

これはすりぬけるとどんな世界が待ってるんですか？

北野会長：

いや、誰もしたことないからこの世界をやってみたいなと。

サッチェル：

へー。

北野会長：

昔から。昔からそういう。ただそれだけなんやて。銭も時計も車も船ももう飽きとる。もっと違った世界があるんでないかなと思ってるから・・・そういう新しい世界を見つけないと。いや金で買えない世界やね。・・・そういっとったら死んどったりして（笑）さぁ行こう。行こうぜ。